

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月26日

東京金属事業健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	23449
組合名称	東京金属事業健康保険組合
形態	総合
業種	金属工業

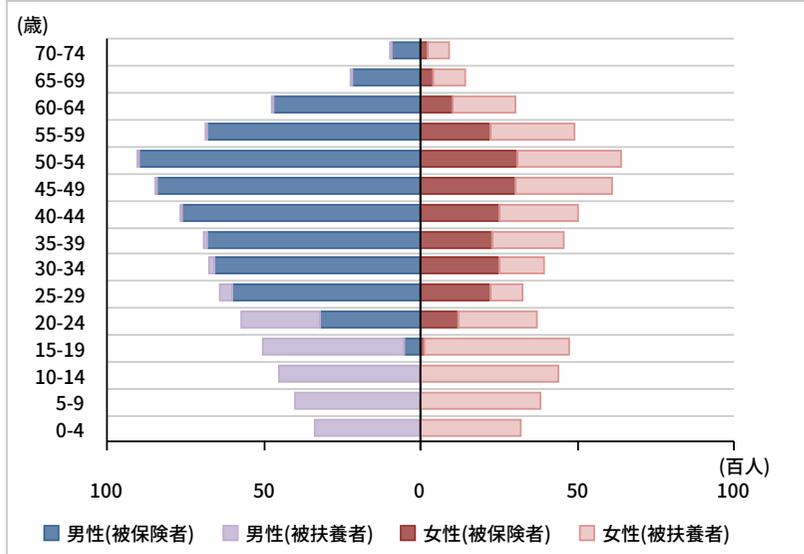
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	83,400名 男性75.2% (平均年齢44.9歳) * 女性24.8% (平均年齢43歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	141,801名	-名	-名
適用事業所数	1,378カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	4,500カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	95%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	1	10	-	-	-	-
	保健師等	3	2	-	-	-	-
事業主	産業医	0	315	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	50,680 / 64,446 = 78.6 %	
	被保険者	42,991 / 48,171 = 89.2 %	
	被扶養者	7,689 / 16,275 = 47.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	2,346 / 10,244 = 22.9 %	
	被保険者	2,282 / 9,528 = 24.0 %	
	被扶養者	64 / 716 = 8.9 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	273,300	3,277	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	108,485	1,301	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	75,271	903	-	-	-	-
	疾病予防費	1,071,623	12,849	-	-	-	-
	体育奨励費	44,778	537	-	-	-	-
	直営保養所費	298,332	3,577	-	-	-	-
	その他	48,439	581	-	-	-	-
	小計 …a	1,920,228	23,024	0	-	0	-
経常支出合計 …b	48,995,845	587,480	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	3.92		-	-	-	-	

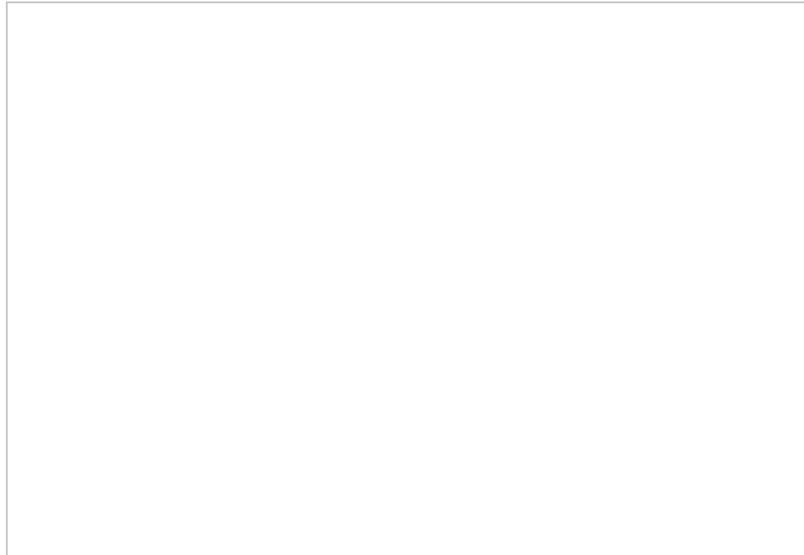
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	500人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	3,200人	25～29	6,000人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	6,600人	35～39	6,800人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	7,600人	45～49	8,400人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	9,000人	55～59	6,800人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4,700人	65～69	2,200人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	901人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	100人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,200人	25～29	2,200人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2,500人	35～39	2,300人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,500人	45～49	3,000人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3,100人	55～59	2,200人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,000人	65～69	400人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	200人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	3,400人	5～9	4,000人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	4,500人	15～19	4,500人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	2,500人	25～29	400人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	200人	35～39	100人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	40人	45～49	40人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	30人	55～59	30人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	80人	65～69	40人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	40人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	3,200人	5～9	3,800人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	4,400人	15～19	4,600人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	2,500人	25～29	1,000人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,400人	35～39	2,300人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,500人	45～49	3,100人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3,300人	55～59	2,700人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2,000人	65～69	1,000人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	700人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・ 加入事業所が約1,400事業所、加入者約14万人の大規模な総合健康保険組合。事業所の拠点は全国に点在している。
- ・ 加入者の年齢階層別構成割合は50歳から54歳が最も高く、次いで45歳から49歳となっている。
- ・ 直営の健診センターを保有し、医療スタッフと保健指導スタッフが常駐している。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

約1,400の事業所が加入しており、現時点で個々の事業所の取り組み状況については把握していないが、今後、当組合のコラボヘルスの在り方を模索していくうえで、実態調査等を行うか検討する。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康ポータルサイト (MY HEALTH WEB)
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	機関紙発行「健康と生活」
保健指導宣伝	機関紙発行「フォトニュース」
保健指導宣伝	健康スコアリングレポート
保健指導宣伝	健康管理通信
保健指導宣伝	健康企業宣言
保健指導宣伝	健康経営サポート
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	受診勧奨通知発送事業
保健指導宣伝	39歳で特定保健指導基準該当者に対する生活習慣改善通知発送事業
保健指導宣伝	高血圧かつ喫煙者に対する生活習慣改善通知発送事業
保健指導宣伝	35歳を迎える被保険者に対する個別面接
保健指導宣伝	40歳未満の特定保健指導基準該当者に対する個別面接
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者除く)
特定健康診査事業	特定健診 (被扶養者と任意継続被保険者)
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	講習会・研修会
保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	健康保険のしおり
保健指導宣伝	日本歯周病学会による組合機関紙「健康と生活」への寄稿
保健指導宣伝	歯の治療を啓発するリーフレットの配布
保健指導宣伝	特定保健指導時の歯周病対策
保健指導宣伝	歯周病予防に関する取組みをさまざまなシーンで啓発
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	療養費内容照会 (柔道整復師分)
保健指導宣伝	後発医薬品の使用促進
保健指導宣伝	ポリファーマシー対策
保健指導宣伝	メンタルヘルス対策
疾病予防	一般健診 (委託)
疾病予防	生活習慣病健診 (委託)
疾病予防	婦人生活習慣病健診 (委託)
疾病予防	再検査 (委託)
疾病予防	がん検診補助金
疾病予防	婦人生活習慣病健診補助金
疾病予防	一般健診補助金
疾病予防	日帰り人間ドック補助金
疾病予防	インフルエンザ予防接種費用補助金
疾病予防	脳検査
体育奨励	野球大会

体育奨励	歩こう大会「潮干狩り」
体育奨励	WEBウォークラリー
体育奨励	体づくり施設利用補助金
体育奨励	ヘルシーアップサポート
直営保養所	熱海保養所「悠楽館」
直営保養所	軽井沢保養所「白樺」
直営保養所	魚沼保養所「湯之谷けんぼセンター」
その他	半日人間ドック
その他	生活習慣病健診
その他	一般健診
その他	特定健診
その他	契約保養所
その他	体育園
その他	健保会館

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1,5	健康ポータルサイト (MY HEALTH WEB)	【目的】 個人の健康管理、健康リテラシーの向上 【概要】 自身の医療費通知や健康情報などの閲覧機能を搭載	全て	男女	0～74	加入者全員	4,528	・登録者数 被保険者 6,600人 被扶養者 330人 ・常時	医療費のお知らせのWeb掲載形式による、加入者サービスの向上、事務の効率化、費用削減	登録者数の増加、加入者サービスに繋がる機能の追加	-
	1,5	ホームページ	【目的】 組合からの告知事項を遅滞なく周知するため 【概要】 ホームページの管理、運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1,137	・健保組合として発信すべき組合情報や適用・給付情報、また健康情報等を適宜掲載している 年間アクセス数 285,532件 ・常時	関係機関等の通知などを適宜、迅速に掲載	-	-
	1,5	機関紙発行「健康と生活」	【目的】 情報発信、健康意識の向上 【概要】 健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年6回奇数月に発行	全て	男女	16～74	加入者全員	14,400	奇数月に全事業所の本社及び希望の支店等に送付。PDF化し、HPでも閲覧可能 平均 46,727×6回=280,360部	健保組合と被保険者を繋ぐツールとして組合情報、読者の興味のある健康に関する記事や加入事業所の記事等を随時掲載している	読者の活字離れやデータ志向による発行部数の減少	-
	1,5	機関紙発行「フォトニュース」	【目的】 情報発信、健康意識の向上 【概要】 健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年6回奇数月に発行	全て	男女	-～-	加入者全員	2,912	奇数月に全事業所の本社及び希望の支店等に送付。 1,625×6回=9,750部	ポスターのため、手軽に掲示が可能	-	-
	1,5	健康スコアリングレポート	【目的】 事業所と当組合が健康づくりに向けた連携を深めるためのコミュニケーションツール 【概要】 健康状態や医療費、健康づくりへの取組み状況等について全国平均や加入員平均と比較したレポートを送付	全て	男女	-～-	加入者全員	163	厚労省版 240件・5月 当組合オリジナル版 125件・9月	スコアリングレポートの送付をきっかけに、健康経営等のアプローチに活用	スコアリングレポートをきっかけにした健康経営の取り組みの推進	-
	1,5	健康管理通信	【目的】 加入事業所との協力・連携の仕組みを構築 【概要】 健康管理委員へ定期的な健康情報などの情報発信	全て	男女	-～-	その他	118	健康管理通信発送数 227件 6月、9月、12月、1月の健康情報の発信	事業所との健康づくりに向けた、情報等の共有、提供	-	-
	1	健康企業宣言	【目的】 健康企業宣言の実施とサポート 【概要】 健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	全て	男女	-～-	加入者全員	-	・健康企業宣言事業所や興味のある事業所への取り組み内容等の説明、サポート 事業所数 92件 ・常時	事業所との健康づくりに向けた、情報等の共有、提供	健康経営推進事業所の拡大	-
1	健康経営サポート	【目的】 健康経営の推進 【概要】 健康経営法人取得に向けた取組みサポート	全て	男女	-～-	加入者全員	-	・健康経営優良法人や興味のある事業所への取り組み内容等のサポート ・常時	事業所との健康づくりに向けた、情報等の共有、提供	健康経営推進事業所の拡大	-	
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	受診勧奨通知発送事業	【目的】 受診勧奨 【概要】 健診結果において要治療判定でありながら未受診者への受診勧奨通知を発送	全て	男女	16～74	加入者全員	277	案内送付者数 2,400人 受診確認者数 400人	受診が確認できない者に文書で注意喚起	対象者のリスクに対する理解不足	-
	2	39歳で特定保健指導基準該当者に対する生活習慣改善通知発送事業	【目的】 40歳到達時以降の特定保健指導対象者の減少 【概要】 39歳の健診時において、特保基準に該当した者に生活習慣改善通知を発送	全て	男女	16～74	加入者全員	-	案内送付者数 240人 翌年度改善者数 20人	39歳時の健診結果が、特定保健指導の基準に該当する者に文書で注意喚起	対象者のリスクに対する理解不足	-
	2	高血圧かつ喫煙者に対する生活習慣改善通知発送事業	【目的】 高血圧などへの注意喚起 【概要】 健診の結果、血圧の検査項目がC判定で、喫煙している者に対して生活習慣改善通知を発送	全て	男女	16～74	加入者全員	-	案内送付者数 1,000人 翌年度改善者数 100人	生活習慣病の注意喚起	対象者のリスクに対する理解不足	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2	35歳を迎える被保険者に対する個別面接	【目的】 40歳到達時以降の特定保健指導対象者の減少 【概要】 35歳時の節目健診後の生活習慣の改善や現状を維持させるための個別面接	全て	男女	35～35	加入者 全員		・50人 ・常時	保健指導未経験者への効果を期待	事業所との連携不足	-
	2	40歳未満の特定保健指導基準該当者に対する個別面接	【目的】 40歳到達時以降の特定保健指導対象者の減少 【概要】 40歳未満の特定保健指導基準該当者への生活習慣改善のための個別面接	全て	男女	16～39	基準該当者		・10人 ・常時	40歳到達時の特定保健指導流入防止を期待	事業所との連携不足	-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診（被扶養者と任意継続被保険者除く）	【目的】 特定健診の受診率の向上 【概要】 事業主が行う定期健診と共同実施	全て	男女	40～74	被保険者	213,155	受診者数 45,500人 受診率 90.1%	健診機関を拡大し、受診しやすい環境の整備	契約医療機関以外のデータ授受	-
	3	特定健診（被扶養者と任意継続被保険者）	【目的】 特定健診の受診率の向上 【概要】 未受診者の自宅へ受診勧奨通知の送付	全て	男女	40～74	加入者 全員	49,351	受診者数 7,800人 受診率 45.9%	健診機関を拡大し、受診しやすい環境の整備	健診の重要性に対する周知不足や受診機会の不足	-
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】 生活習慣病リスク者への早期介入 【概要】 特定保健指導の実施。リモート保健指導を取入れ、受診しやすい環境の整備	全て	男女	40～74	基準該当者	75,701	動機付け 対象者数 4,290人 利用者数 1,369人 完了者数 1,364人 積極的 対象者数 6,210人 利用者数 1,993人 完了者数 1,117人 実施率 23.6%	・直営健診センターによる当日実施 ・リモート保健指導の導入 ・事業所訪問支援	・保健指導の重要性に対する周知不足 ・事業所との連携	-
保健指導宣伝	8	講習会・研修会	【目的】 社会保険及び健康づくりに関する知識の向上 【概要】 保険給付業務や健康経営などの講習会・研修会を実施	全て	男女	16～74	加入者 全員		ホームページからの動画配信	アーカイブ配信にも対応しているため視聴が容易		-
	8	健康管理委員会	【目的】 社会保険及び健康づくりに関する知識の向上 【概要】 健康情報、動画配信、リーフレットなどの配布を行う	全て	男女	16～74	その他		リーフレットの配布方式にて実施 配布数 260人			-
	8	健康管理事業推進委員会	【目的】 保健事業の推進 【概要】 事業の企画立案、実施結果の分析・評価を行う	全て	男女	16～74	その他	192	前年度報告11名 次年度計画12名	・6月 ・11月 事業所の特性に応じた意見交換		-
	8	健康保険のしおり	【目的】 医療保険制度及び保健事業の啓発を図る 【概要】 新規取得者に配布	全て	男女	16～74	その他	800	新規取得者に配布 本部管轄事業所 9,000部 多摩支部管轄事業所 2,000部	健康保険組合事業の解説		-
	2	日本歯周病学会による組合機関紙「健康と生活」への寄稿	【目的】 歯周病予防に関する啓発事業 【概要】 歯周病に関連するテーマを特集して発行	全て	男女	-	加入者 全員	147	・歯周病に関するテーマを毎月掲載 ・奇数月	歯周病への関心を高める		-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
	2	歯の治療を啓発するリーフレットの配布	【目的】 歯周病予防に関する啓発事業 【概要】 歯周病などの歯の病気が糖尿病などの生活習慣病や、認知症のリスクを高めることや、医療費が抛出金に及ぼす65歳までに歯の病気にに関して完治を促すリーフレットを配布	全て	-	61～61	加入者全員		・2,000部配布 ・3月	受診勧奨	-	-	
	8	特定保健指導時の歯周病対策	【目的】 歯周病予防に関する啓発事業 【概要】 当組合スタッフが行う特定保健指導の初回面接時において、歯周病などの歯の病気についての保健指導を実施	全て	男女	40～74	基準該当者		・実施人数 2,806人 ・常時	・初回面接時に指導することで、効率的且つ効果的 ・意識付の期待	-	-	
	2	歯周病予防に関する取組みをさまざまなシーンで啓発	【目的】 歯周病予防に関する啓発事業 【概要】 館内のポスター掲示など、機関紙、通知文及び封筒への定型文の挿入や保健事業開催時の啓発資料の配布	全て	男女	0～74	加入者全員		館内のポスター掲示	・意識付の期待	ポスター以外での啓発活動	-	-
	7	医療費通知	【目的】 医療費の適正化 【概要】 医療費の実情と健康情報の提供	全て	男女	0～74	加入者全員	10	MY HEALTH WEBに毎月医療情報をアップロードすることで閲覧可能 紙媒体(依頼分)172件 ポータルサイト閲覧 3686件	適宜閲覧可能	MY HEALTH WEBの登録者数の伸び悩み	-	-
	8	療養費内容照会(柔道整復師分)	【目的】 医療費の適正化 【概要】 柔道整復師、接骨院の正しい受療方法の周知	全て	男女	0～74	加入者全員	11,417	・外部委託し、照会条件に該当した者に対して照会文を送付 ・毎月	照会文を送付することによって、医療費適正化に寄与	未回答者等へのアプローチなど、費用対効果を考慮した照会方法の検討	-	-
	8	後発医薬品の使用促進	【目的】 医療費の適正化 【概要】 医療費の実情と健康情報の提供	全て	男女	0～74	加入者全員	4,427	・通知 10,002件	効果額約220万	-	-	-
	8	ポリファーマシー対策	【目的】 医療費の適正化 【概要】 多剤・重複など適正服薬の促進	全て	男女	0～74	加入者全員	574	・通知 1,184件	有害事象への注意喚起	-	-	-
	8	メンタルヘルス対策	【目的】 事業所のメンタルヘルスサポート 【概要】 事業主、管理職、担当者や被扶養者向けの相談窓口の設置	全て	男女	0～74	加入者全員	2,269	電話相談 148人 WEB相談 16人	事業場外資源の活用	-	-	-
疾病予防	3	一般健診(委託)	【目的】 受診率向上 【概要】 39歳以下の被保険者を対象にした健診	全て	男女	16～39	加入者全員	53,018	受診者数 6,200人	健康意識向上	・巡回バス健診の人数制限 ・居所及び事業場周辺の健診機関不足	-	-
	3	生活習慣病健診(委託)	【目的】 受診率向上 【概要】 被保険者を対象にした健診	全て	男女	16～74	加入者全員	423,248	受診者数 38,000人	健康意識向上	・巡回バス健診の人数制限 ・居所及び事業場周辺の健診機関不足	-	-
	3	婦人生活習慣病健診(委託)	【目的】 受診率向上 【概要】 女性被保険者及び35歳以上の被扶養者を対象にした健診	全て	女性	16～74	加入者全員	156,940	受診者数 12,400人	健康意識向上	被扶養者への周知不足	-	-
	3	再検査(委託)	【目的】 異常値が持続的なものかを確認するため 【概要】 一般・生活習慣病・婦人生活習慣病健診の再検査を実施	全て	男女	16～74	加入者全員	2,751	受診者数 650人	-	再検査の受診可能な医療機関の確保	-	-
	3	がん検診補助金	【目的】 受診率向上 【概要】 事業主健診と併せてがん検診を実施した場合に補助金を支給	全て	男女	16～74	加入者全員	6,597	受診者 1,400人	-	事業所への周知不足	-	-
	3	婦人生活習慣病健診補助金	【目的】 受診率向上 【概要】 事業主健診と併せて婦人科検診を実施した場合に補助金を支給	全て	女性	16～74	加入者全員	930	受診者 40人	請求可能地域の拡充	事業所への周知不足	-	-
	3	一般健診補助金	【目的】 受診率向上 【概要】 契約を締結した医療機関に被保険者が受診した場合に補助金を支給	全て	男女	16～74	加入者全員	--	-	-	-	-	-
	3	日帰り人間ドック補助金	【目的】 受診率向上 【概要】 35歳以上の被保険者が契約医療機関で日帰り人間ドックを受診した場合に補助金を支給	全て	男女	35～74	加入者全員	216,103	受診者 8,700人	契約医療機関の拡充	事業所への周知不足	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	インフルエンザ予防接種費用補助金	【目的】 インフルエンザ発症・重症化予防 【概要】 インフルエンザ予防接種を受けた被保険者及び被扶養者に補助金を支給	全て	男女	0～74	加入者 全員	36,585	接種者 35,000人	東振協を利用することで一時負担を不要とする接種が可能 当組合 24,384人 東振協 9,110人	-	
	3	脳検査	【目的】 脳疾患の早期発見・早期治療 【概要】 東振協の約270カ所の医療機関において相場価格以下で検査を実施	全て	男女	0～74	加入者 全員	19	検査者 100人	一般価格以下で利用可能	-	
体育奨励	8	野球大会	【目的】 健康の保持・増進を図る 【概要】 直営の秋川球場で1・2部制で開催する	全て	男女	16～74	被保険者	1,675	1部 14チーム 5～6月 2部 14チーム 9～10月	運動機会の確保	地方在住者の参加が困難	-
	8	歩こう大会「潮干狩り」	【目的】 健康の保持・増進を図る 【概要】 木更津海岸中之島公園において開催する	全て	男女	0～74	加入者 全員	2,479	参加者 1,292人	運動機会の確保	地方在住者の参加が困難	-
	8	WEBウォークラリー	【目的】 健康の保持・増進を図る 【概要】 自身の歩数を入力およびスマホなどと連携し、3か月の期間を定めたコースと1年間を通じたコースで開催	全て	男女	0～74	加入者 全員	9,995	-	運動機会の確保	-	-
	8	体力づくり施設利用補助金	【目的】 健康の保持・増進を図る 【概要】 各地の体力づくり施設を利用した被保険者及び被扶養者に補助金を支給	全て	男女	0～74	加入者 全員	962	利用者 2,100人	契約地域の拡大	契約地域の拡大及び補助額の増額	-
	8	ヘルシーアップサポート	【目的】 健康の保持・増進を図る 【概要】 スポーツ施設、宿泊施設を健康保険証を提示し、一般料金以下で利用する	全て	男女	0～74	加入者 全員	-	利用者 1,377人	運動機会の確保	-	-
直営保養所	8	熱海保養所「悠楽館」	【目的】 保養促進 【概要】 管理運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者 全員,その他	139,484	被保険者 1,571人 被扶養者 2,627人 その他 535人	現役加入者優先に受付後、OBへの利用拡大	-	-
	8	軽井沢保養所「白樺」	【目的】 保養促進 【概要】 管理運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者 全員,その他	78,771	被保険者 878人 被扶養者 1,523人 その他 198人	現役加入者優先に受付後、OBへの利用拡大	冬季についてはウインタースポーツ離れにより利用者が減少している	-
	8	魚沼保養所「湯之谷けんぼセンター」	【目的】 保養促進 【概要】 5健保協同による管理運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者 全員,その他	42,988	被保険者 336人 被扶養者 504人 その他 101人	現役加入者優先に受付後、OBへの利用拡大	-	-
その他	3	半日人間ドック	【目的】 受診率向上 【概要】 35歳以上の被保険者が日帰り人間ドックを受診	全て	男女	35～74	加入者 全員	41,045	受診者数 6,776人	安全かつ安心できる健診の提供	被扶養者及び任意継続被保険者への周知不足	-
	3	生活習慣病健診	【目的】 受診率向上 【概要】 被保険者が生活習慣病健診を受診	全て	男女	16～74	被保険者	6,685	受診者数 1,549人	安全かつ安心できる健診の提供	健診担当者との連携	-
	3	一般健診	【目的】 受診率向上 【概要】 39歳以下の被保険者が一般健診を受診	全て	男女	16～39	被保険者	76	受診者数 133人	安全かつ安心できる健診の提供	健診担当者との連携	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	特定健診	【目的】受診率向上 【概要】40歳以上の被保険者及び被扶養者が受診	全て	男女	40 ～ 74	被扶養者,任意継続者	18	受診者数 3人	安全かつ安心できる健診の提供	健診対象者（任意継続・40歳以上の被扶養者）への周知不足	-
	8	契約保養所	【目的】保養促進 【概要】1泊2,500円を上限に補助、年度内2泊まで	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	194	被保険者 21人 被扶養者 18人	ホームページ、小冊子などで広報している	利用要綱等の変更	-
	8	体育園	【目的】野球場の管理運営 【概要】あきる野市の野球場の運営管理、事業所対抗軟式野球大会を実施	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	5,916	被保険者 819人 一般 15人	-	-	-
	8	健保会館	【目的】組合事務局の運営施設 【概要】保険給付事務、保健事業の組合事務局	-	-	- ～ -	-	33,439	-	-	-	-

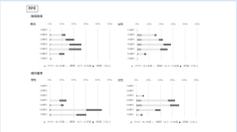
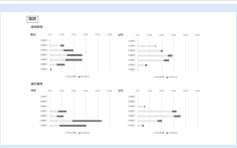
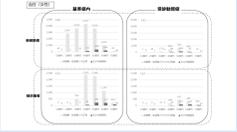
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

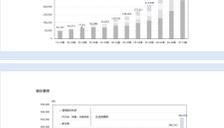
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

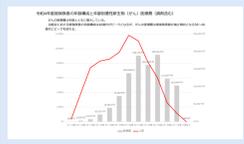
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		タイトル	-	-
イ		組合の属性	加入者構成の分析	加入事業所の規模としては被保険者50人未満の事業所の割合が高い。男女別加入状況としては、被保険者は男性の加入割合が、被扶養者は女性の加入割合が高い。
ウ		被保険者・被扶養者BMI	健康リスク分析	40代・50代で肥満者が増加する傾向がある。
エ		メタボ割合推移と男女別年齢階層別割合	健康リスク分析	男女ともに年齢を重ねるごとにメタボ該当者割合は高くなる傾向がある。
オ		メタボ予備軍年齢階層別	健康リスク分析	メタボ予備軍は各年齢階層を問わず、一定数存在が見られる。男女ともに年齢を重ねるごとに該当者が増加する傾向が見られる。
カ		腹囲	健康リスク分析	男女ともに40代で腹囲増加が顕著に見られる。
キ		血圧男性	健康リスク分析	年齢を重ねるごとに服薬者が増加する傾向がある。
ク		血圧女性	健康リスク分析	年齢を重ねるごとに服薬者が増えている。

ケ		血糖値男性	健康リスク分析	高血糖者は年齢を重ねることに増加し、薬の内服者も増加する傾向が見られる。
コ		血糖値女性	健康リスク分析	年齢を重ねることに高血糖者が増加し、薬の内服者も増加する傾向が見られる。
サ		HbA1c男性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者、薬の内服者が増加する傾向が見られる。
シ		HbA1c女性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者、薬の内服者の増加が見られる。
ス		HDL男性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者と薬の内服者の増加が見られる。
セ		HDL女性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者と薬の内服者の増加が見られる。
ソ		LDL男性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者、薬の内服者の増加が見られる。
タ		LDL女性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者、薬の内服者の増加が見られる。
チ		中性脂肪男性	健康リスク分析	年齢を重ねることに受診勧奨対象者と薬の内服者の増加が見られる。

ツ		中性脂肪女性	健康リスク分析	年齢を重ねるごとに受診勧奨対象者と薬の内服者の増加が見られる。
テ		受診勧奨保有リスク男性	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨保有リスクは年齢を重ねるごとに増加する傾向が見られる。 男性の場合、脂質リスクは年齢を重ねるごとに減少が見られる。 年齢を重ねるごとに血圧、血糖、脂質と複合的な要因で受診勧奨保有リスク者が増加している。
ト		受診勧奨保有リスク女性	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> 受診勧奨リスク保有者は年齢を重ねるごとに増加している。 女性の場合、年齢を重ねるごとに脂質リスクが増加している。 年齢を重ねるごとに血圧、血糖、脂質と複合的な要因で受診勧奨保有リスク対象者が増加している。
ナ		喫煙状況	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> 男性加入員は各年代で全国平均の喫煙者割合を上回っている。 女性加入員も全国平均の喫煙者割合を上回っている年代が見られる。 男女ともに全体平均から比較すると全国平均の喫煙者割合を上回っている。
ニ		特定健診・特定保健指導実施状況	特定健診分析	特定健診実施率・特定保健指導実施率ともに総合健保、協会けんぽの実施率平均を上回っている。
ヌ		特定健診特定保健指導年齢階層別状況	特定健診分析	<p>年齢を重ねるごとに特定健診実施率の減少が見られるため、年代上昇に伴っても実施率を維持できる取り組みが必要。</p> <p>男性加入員の特定保健指導実施率は40代、50代で各年代よりも減少しているため、実施率向上への取り組みが必要。</p>
ネ		医療費総額推移	医療費・患者数分析	令和2年度のコロナウイルス流行期以外は、年度ごと継続しての医療費上昇が見られる。
ノ		年齢階層別・疾病分類別医療費被保険者	医療費・患者数分析	<p>年齢を重ねるごとに一人あたりの医療費上昇が見られる。</p> <p>生活習慣病に関わる疾患としては各年代で循環器系疾患の割合が高い。</p>
ハ		年齢階層別・疾病分類別医療費被扶養者	医療費・患者数分析	生活習慣病に関わる疾患としては循環器系疾患と新生物の割合が高い。

ヒ



被保険者年齢構成悪性新生物医療費

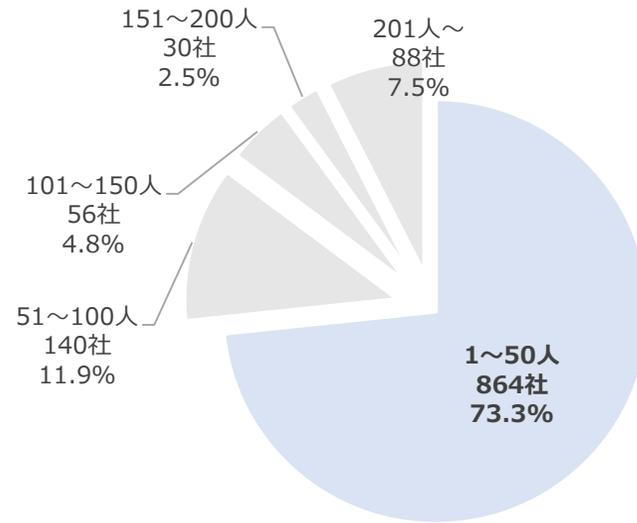
医療費・患者数分析

ガンの医療費は年代を重ねるごとに増加している。
当組合の年齢構成は40歳代がピークであるがガン医療費のピークは50歳代から60歳代でピークを迎える。

令和4年度の健診結果を集計

当組合の属性（令和5年3月31日現在）

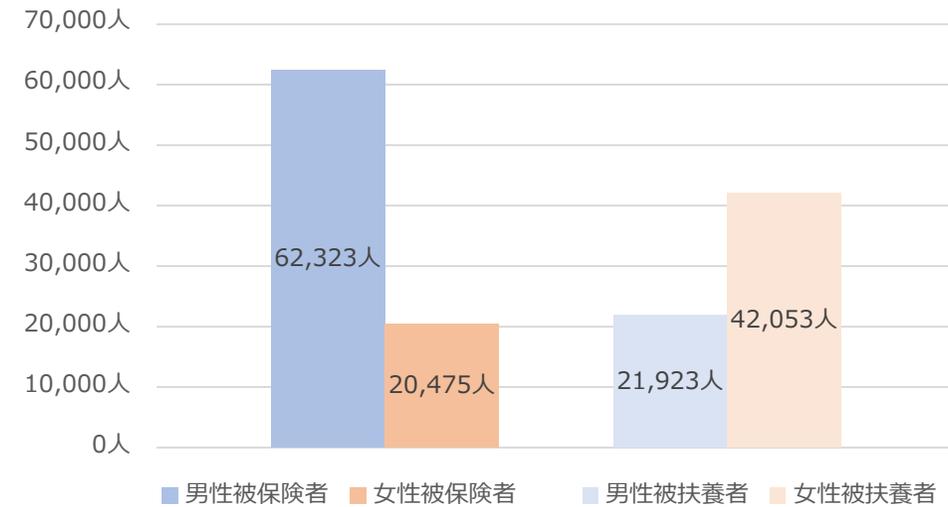
被保険者規模別事業所状況



合計：1,178社

約1,200の事業所のうち、被保険者50人以下の事業所が約75%を占める。

男女別加入状況

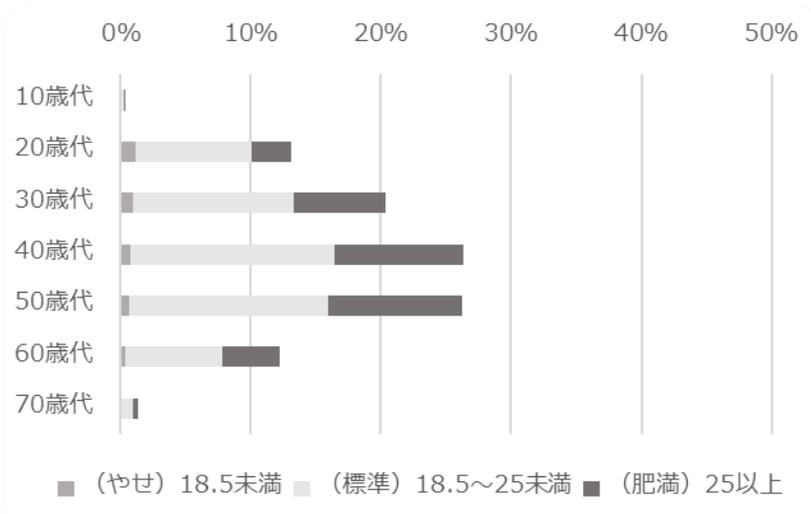


被保険者82,798人のうち約75%が男性被保険者で62,323人男性被保険者が20,475人となっている。
 被扶養者については、63,976人のうち65%が女性被扶養者で42,053人男性被扶養者が21,923人となっている。
 被保険者一人に対して被扶養者の割合を示す扶養率については、0.77%となっている。

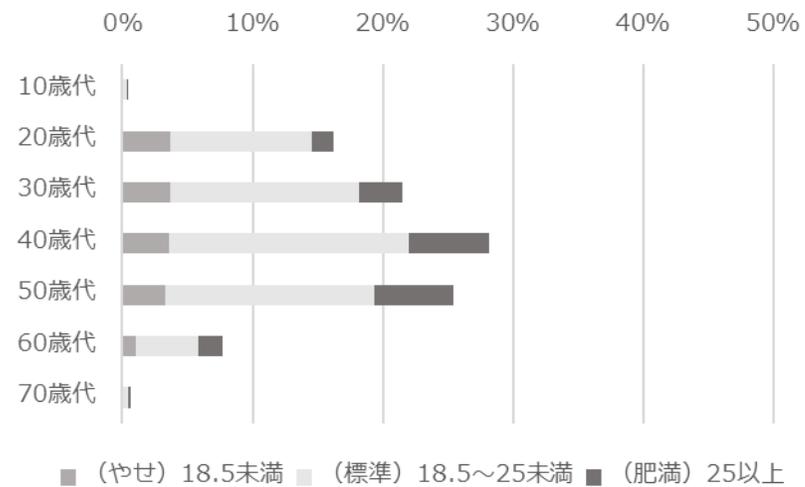
BMI

被保険者

男性

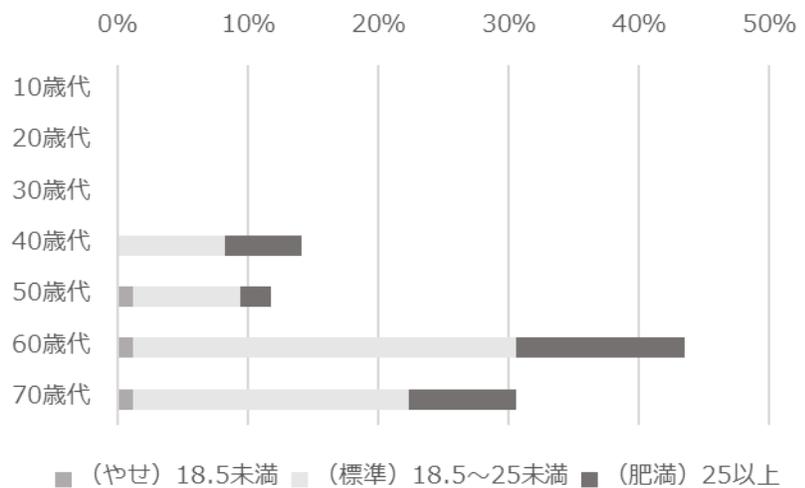


女性

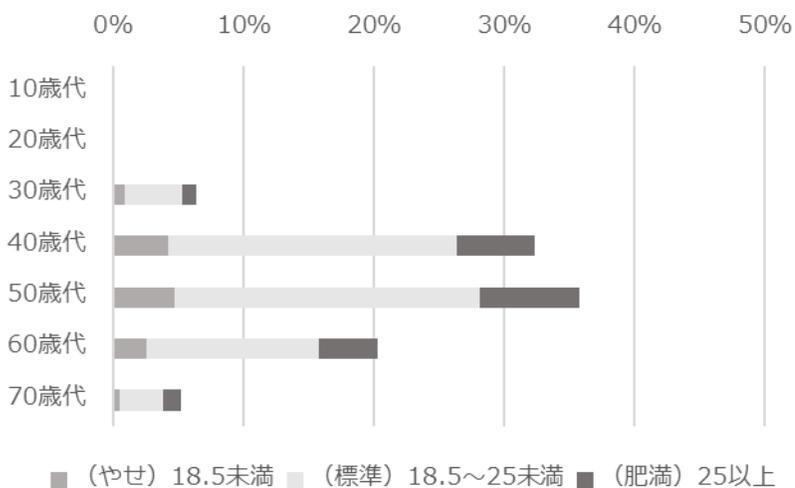


被扶養者

男性

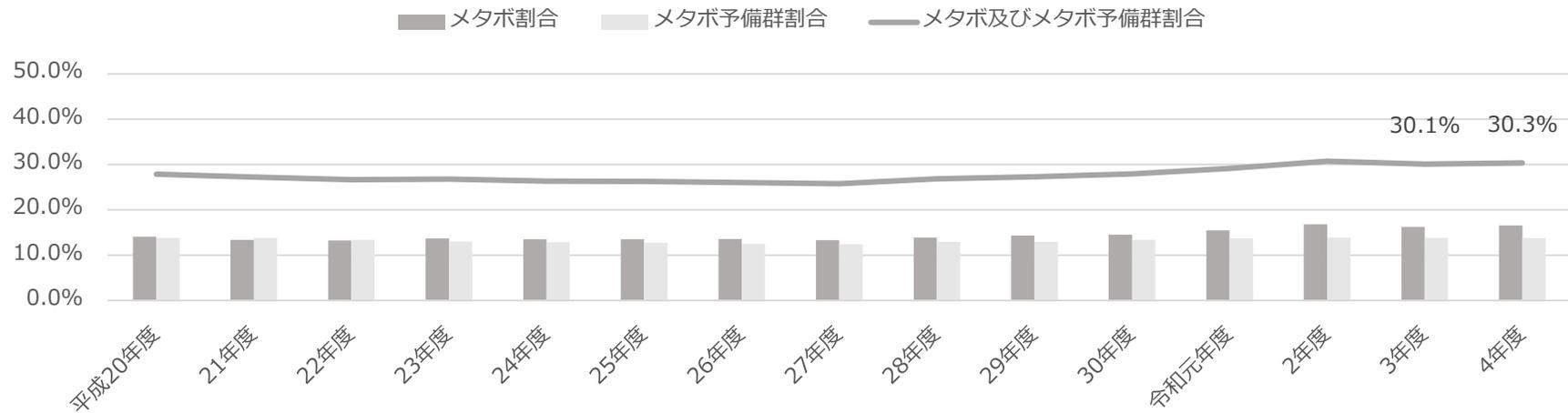


女性

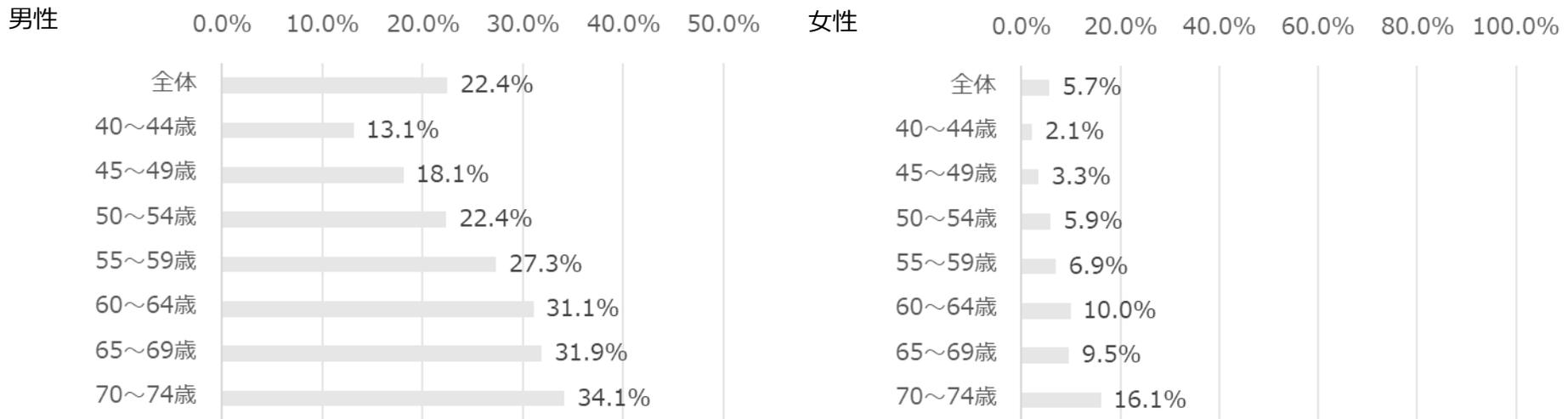


当組合内臓脂肪肥満症候群（メタボ）関係

メタボ割合推移



メタボ男女別年齢階層別割合（令和4年度）



当組合内臓脂肪肥満症候群（メタボ）関係

メタボ予備群男女別年齢階層別割合（令和4年度）

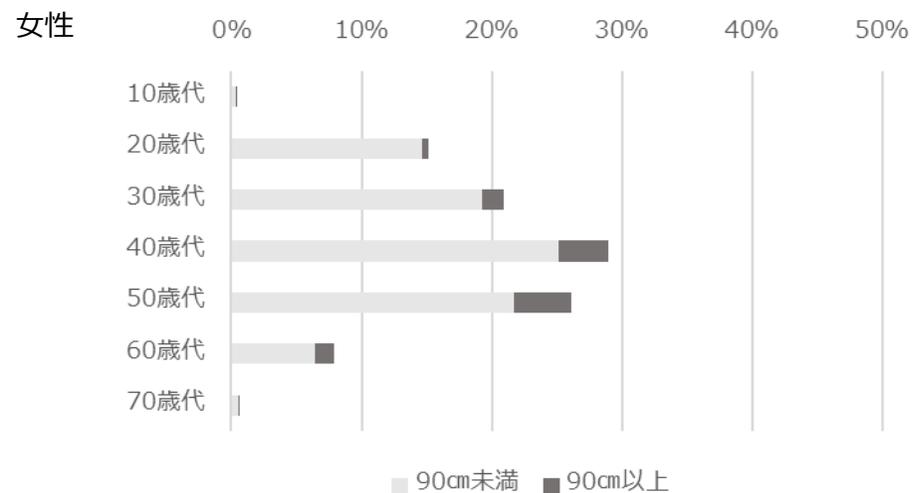
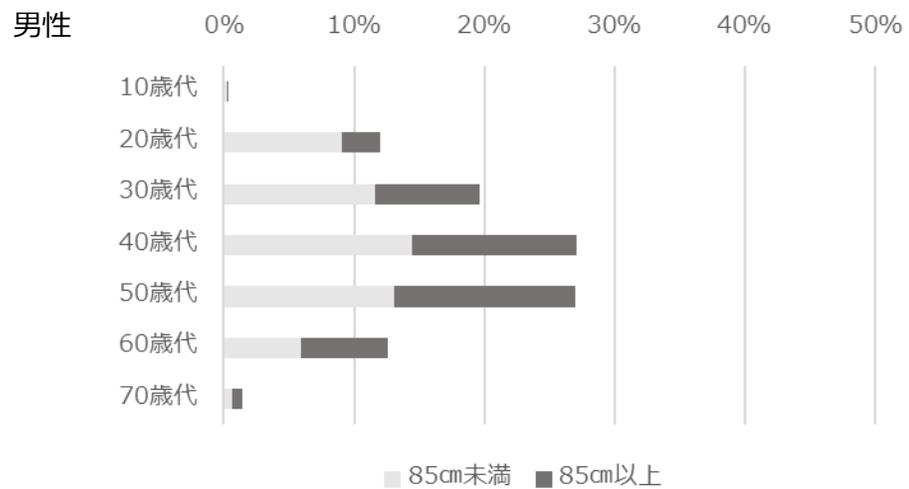


メタボ及び予備群男女別年齢階層別割合（令和4年度）

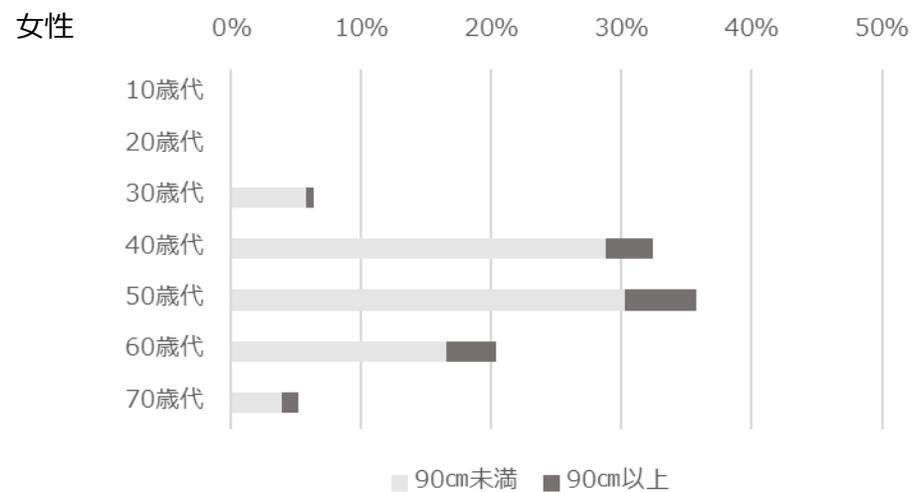
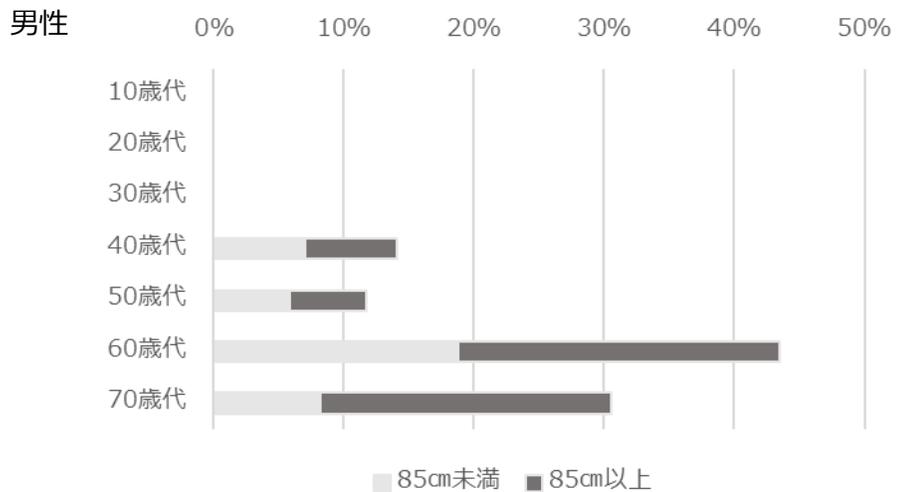


腹囲

被保険者



被扶養者

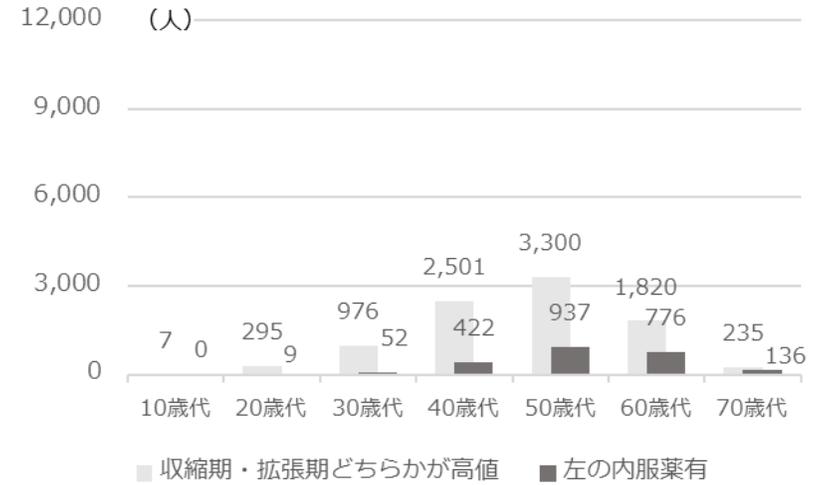
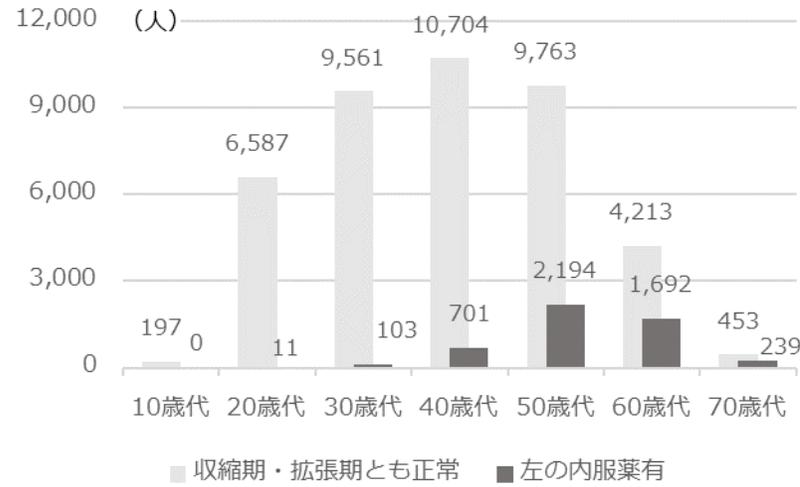


血圧 (男性)

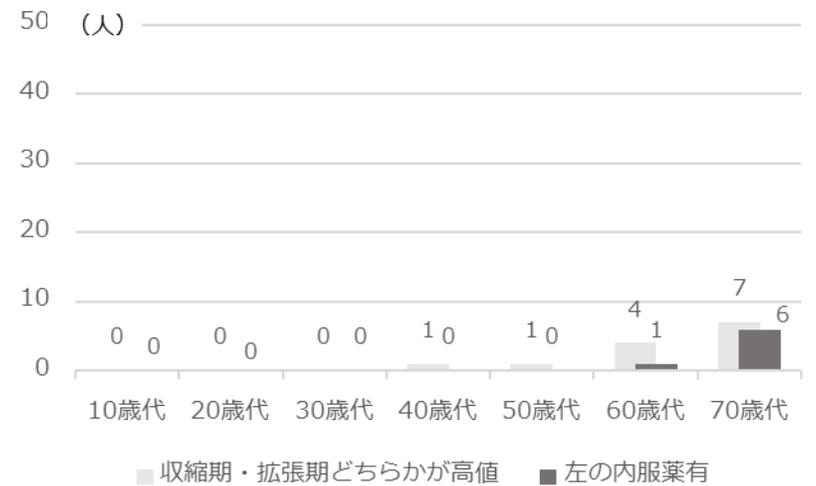
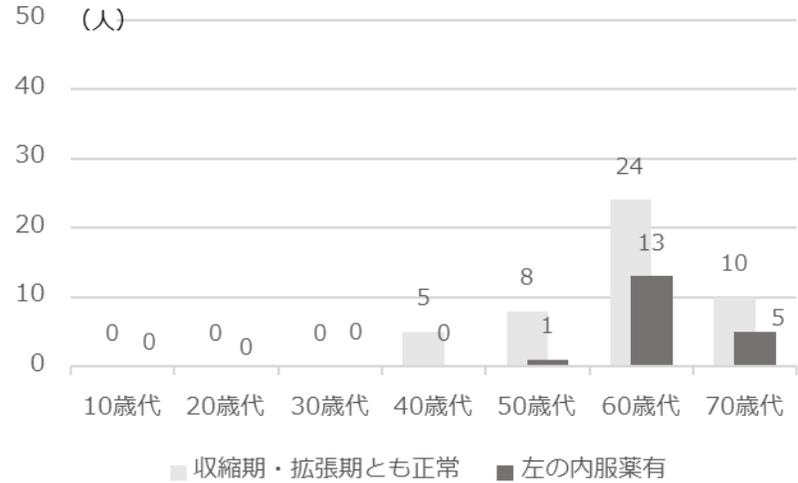
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

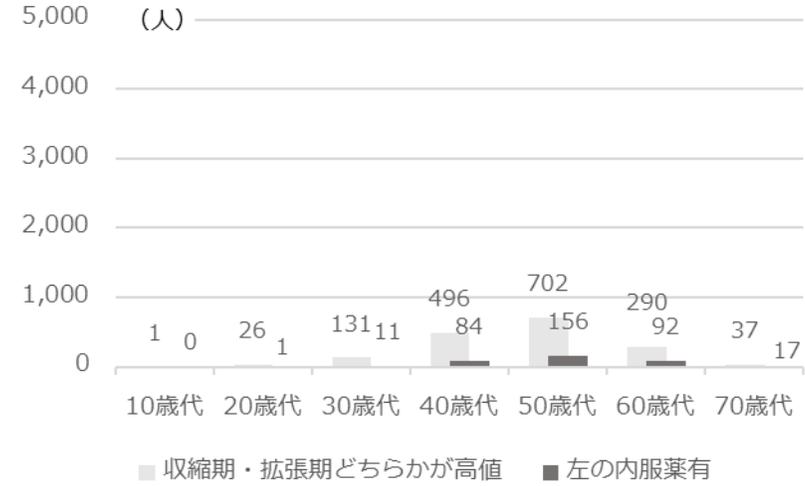
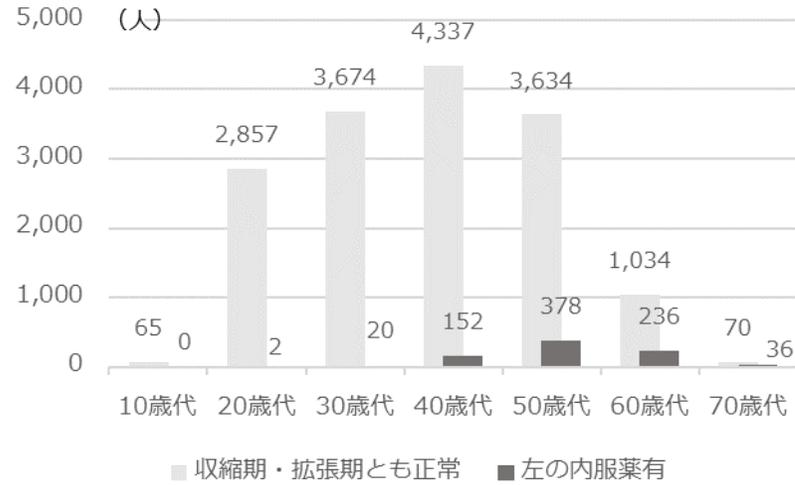


血圧（女性）

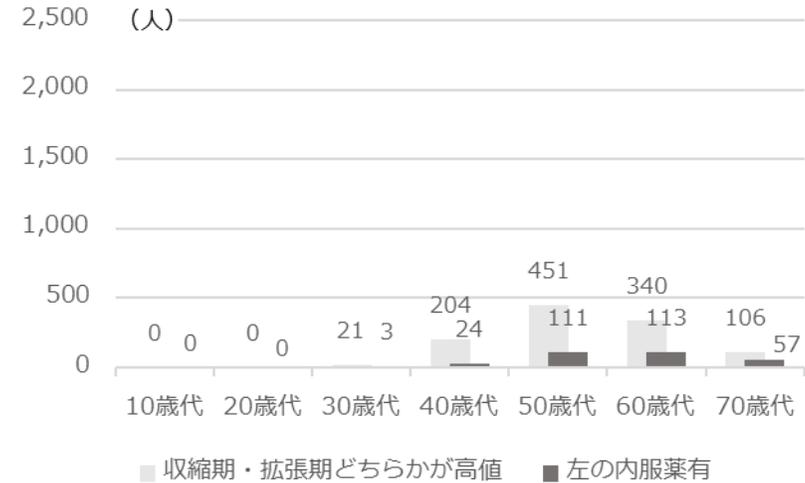
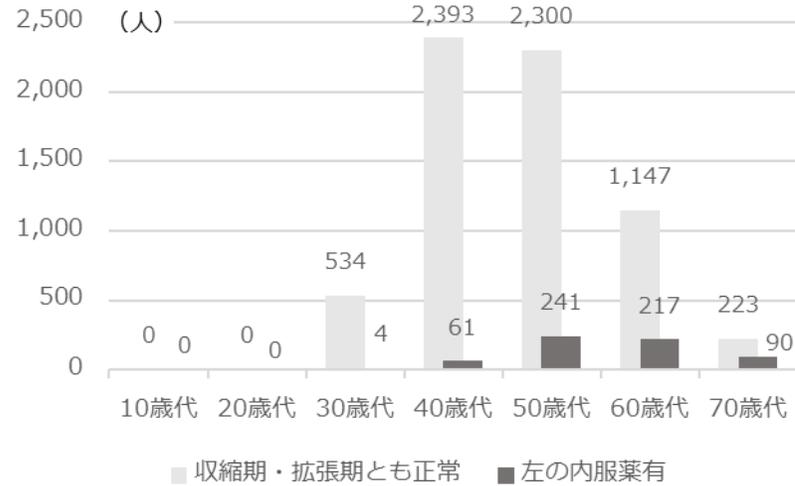
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

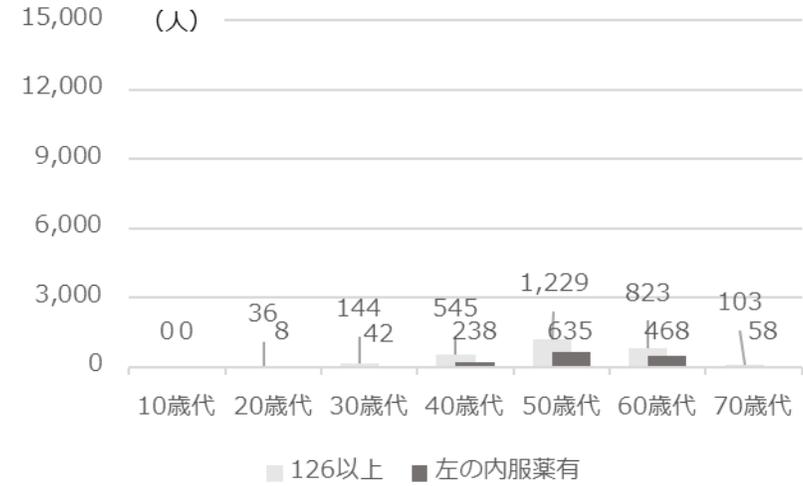
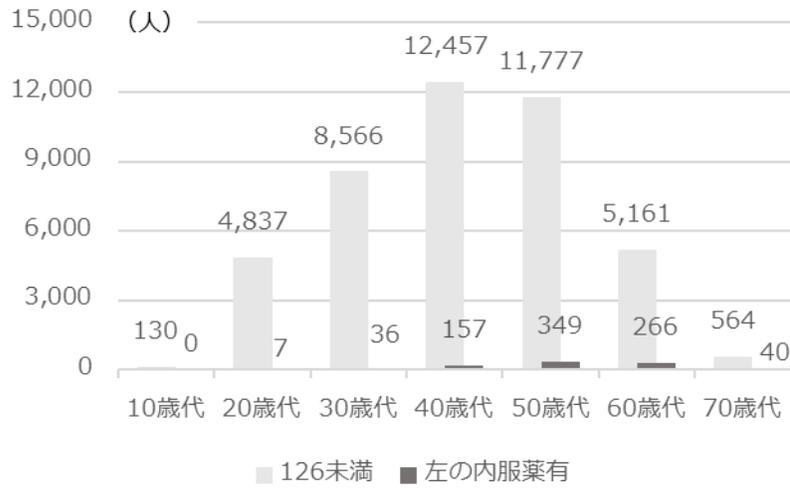


血糖値 (男性)

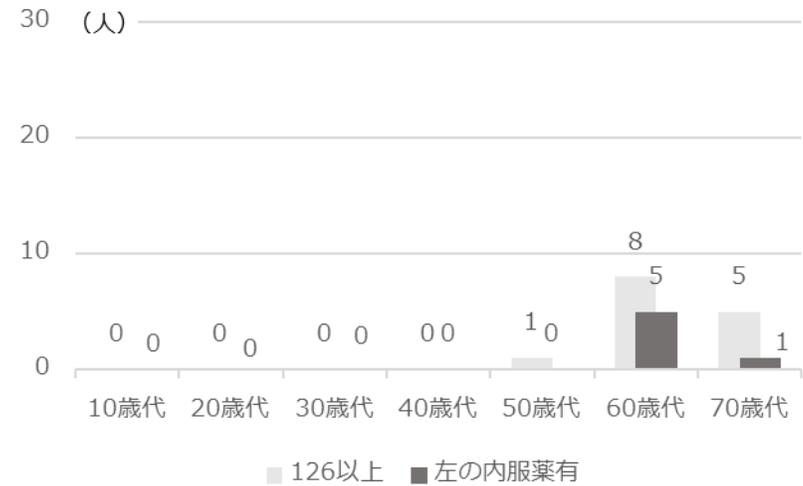
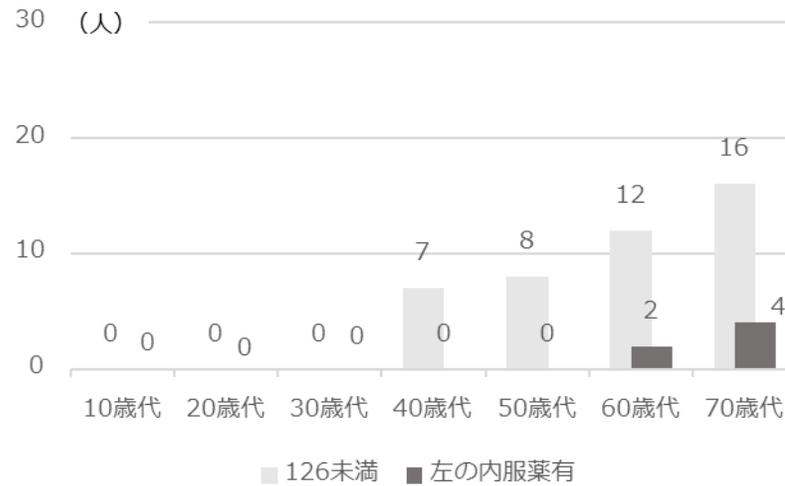
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

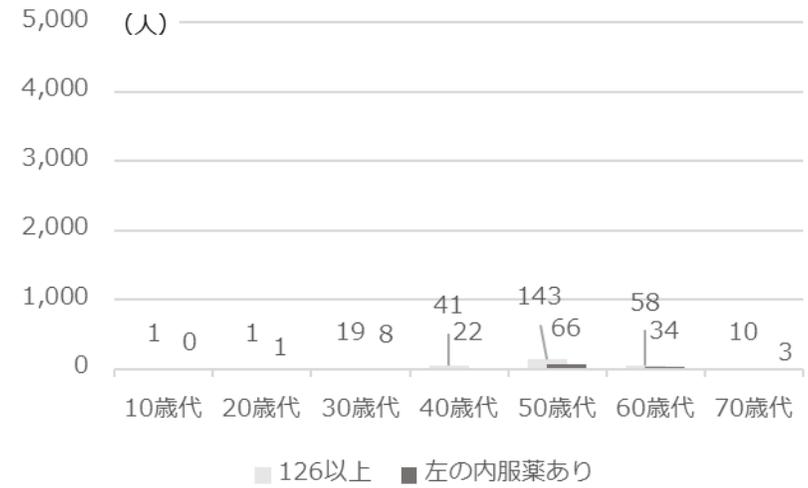
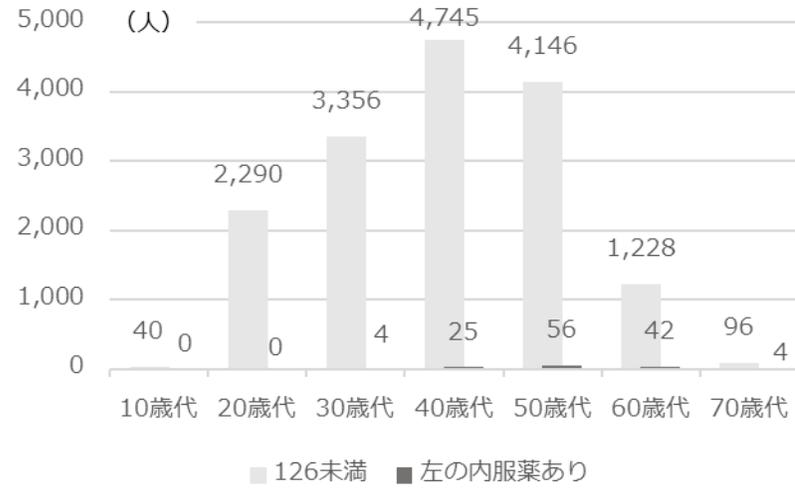


血糖値 (女性)

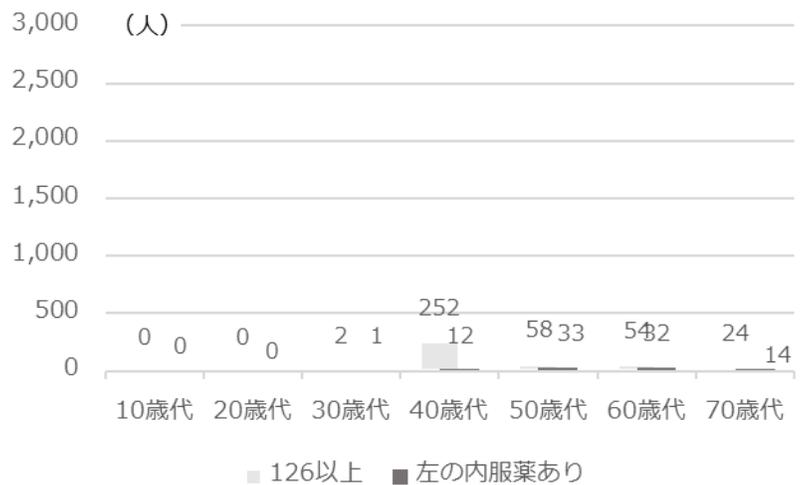
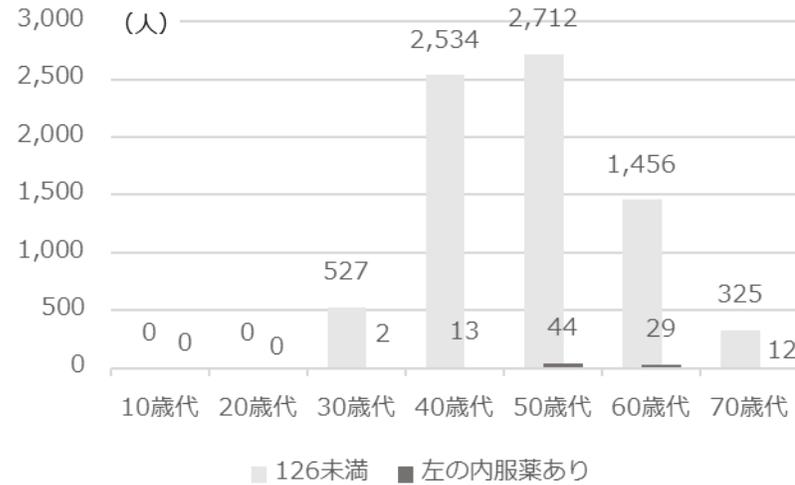
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

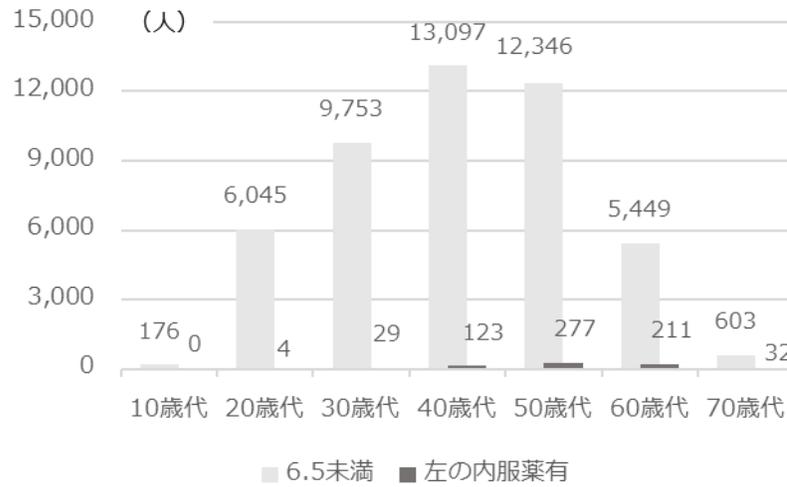


HbA1c (男性)

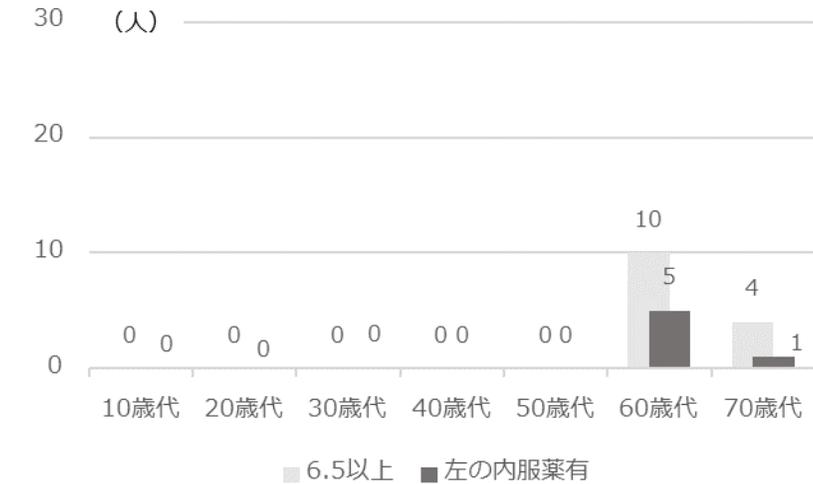
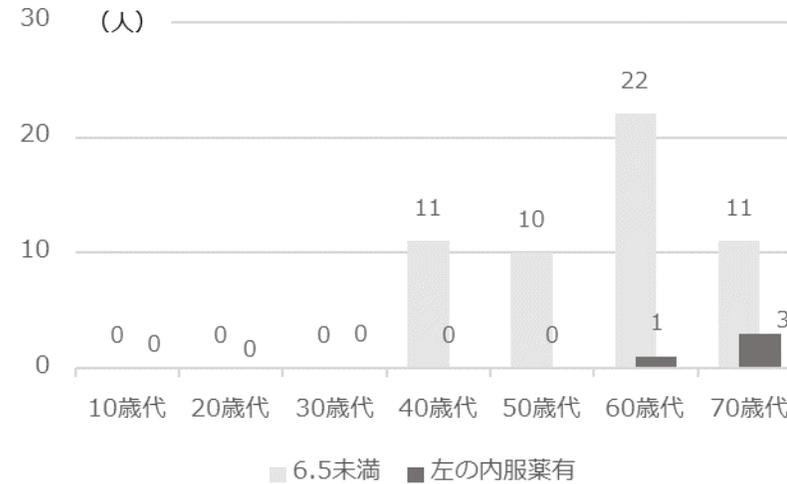
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

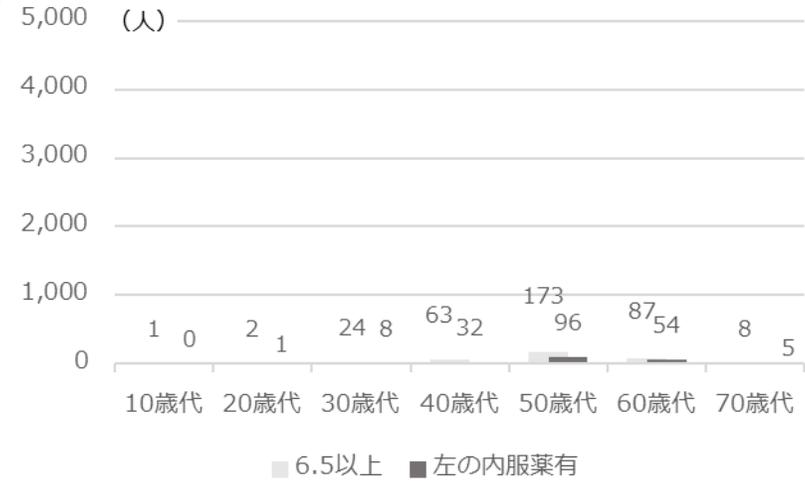
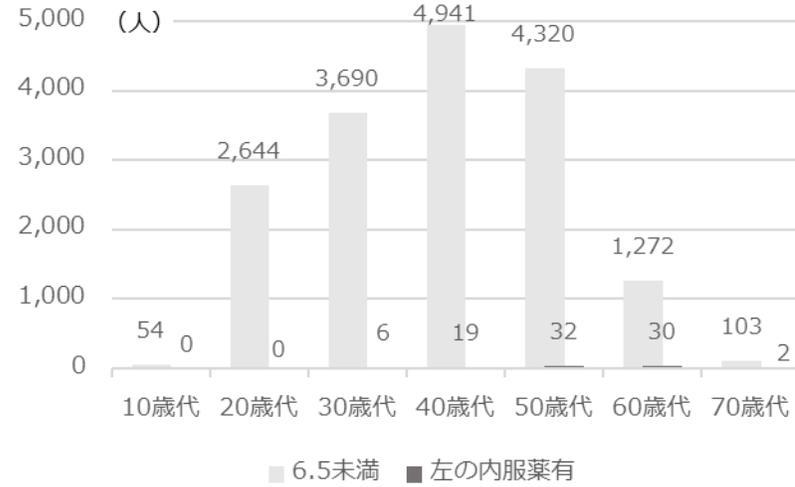


HbA1c (女性)

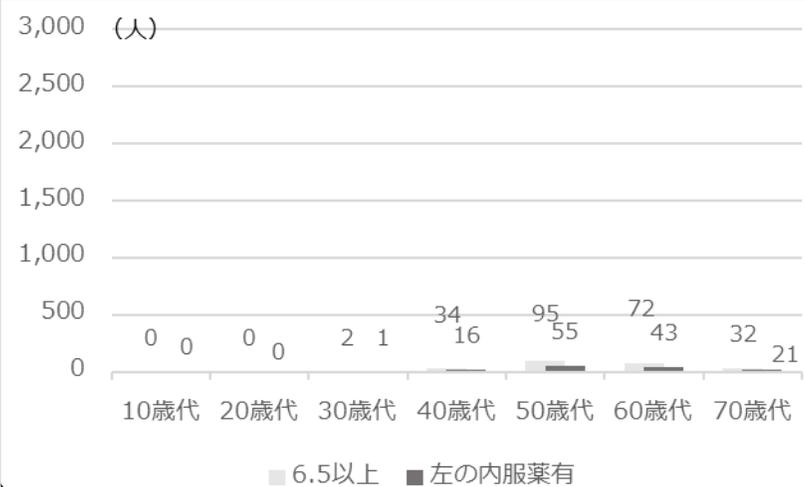
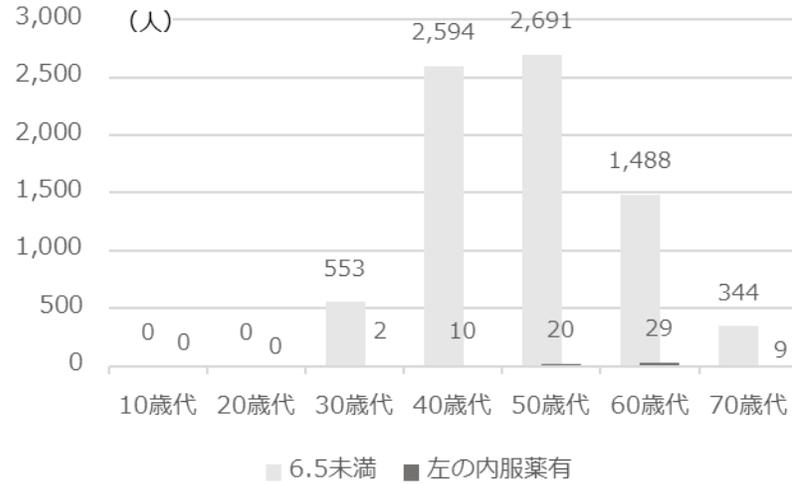
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

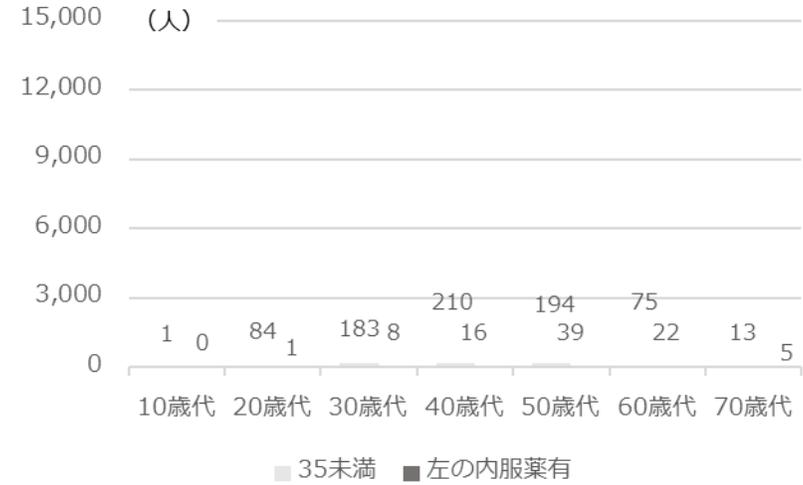
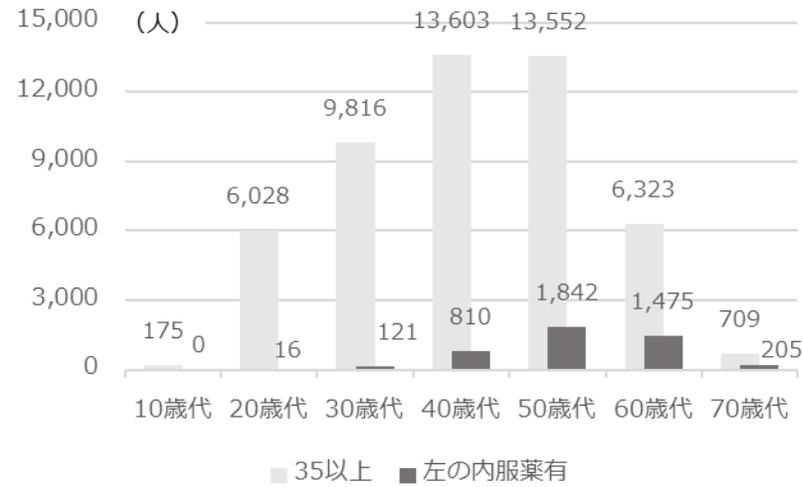


HDL (男性)

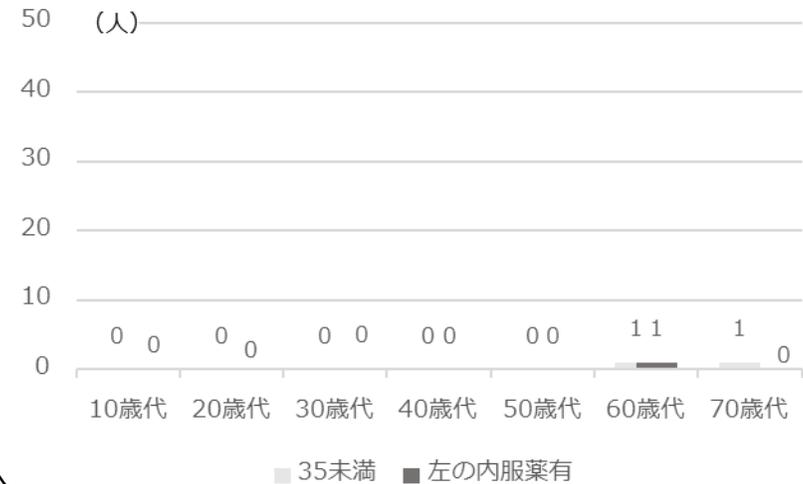
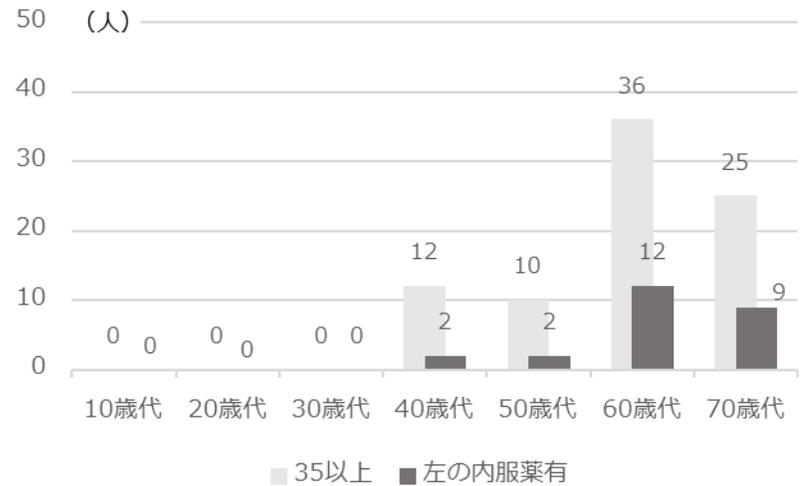
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

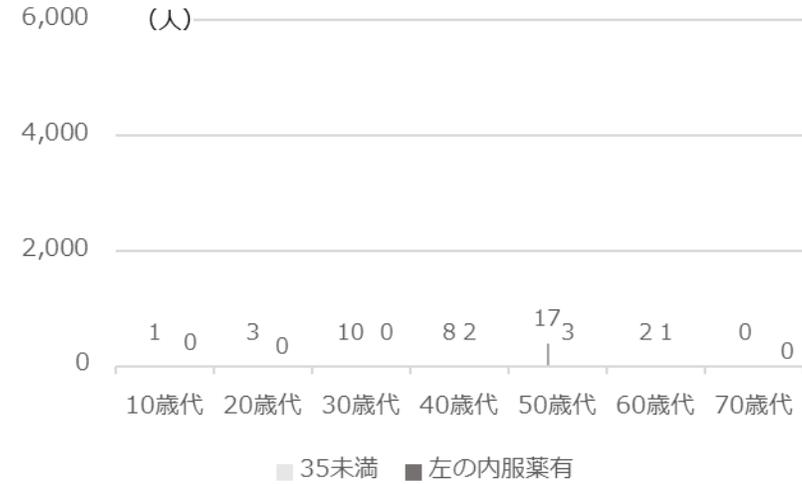
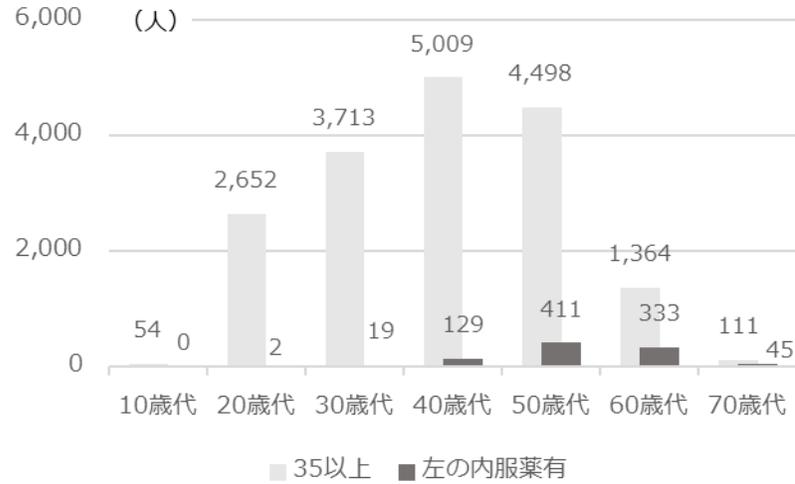


HDL (女性)

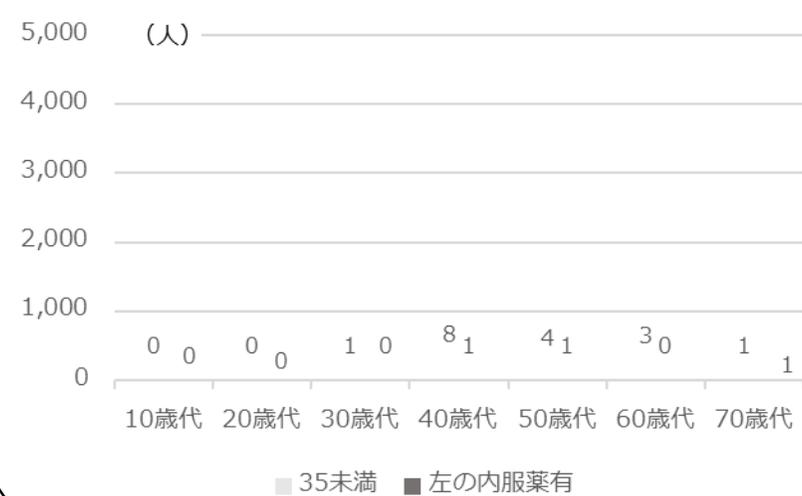
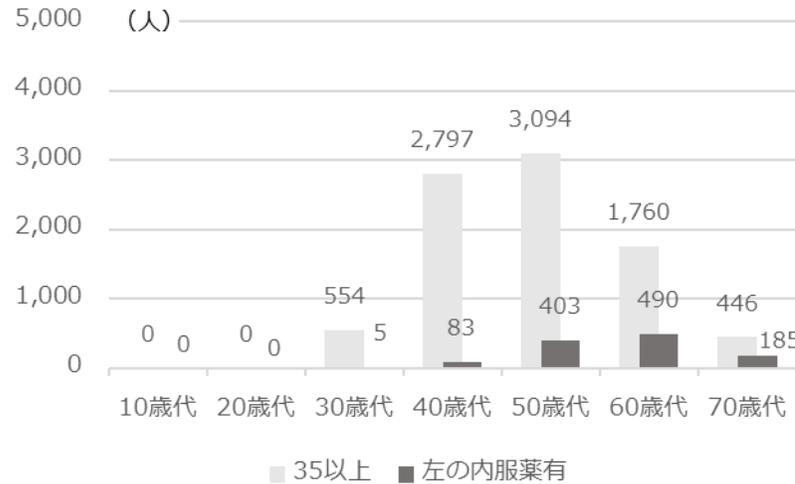
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

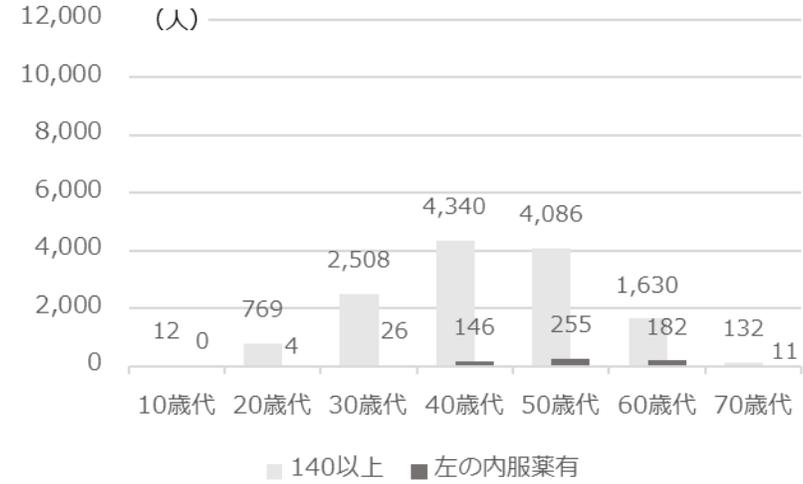
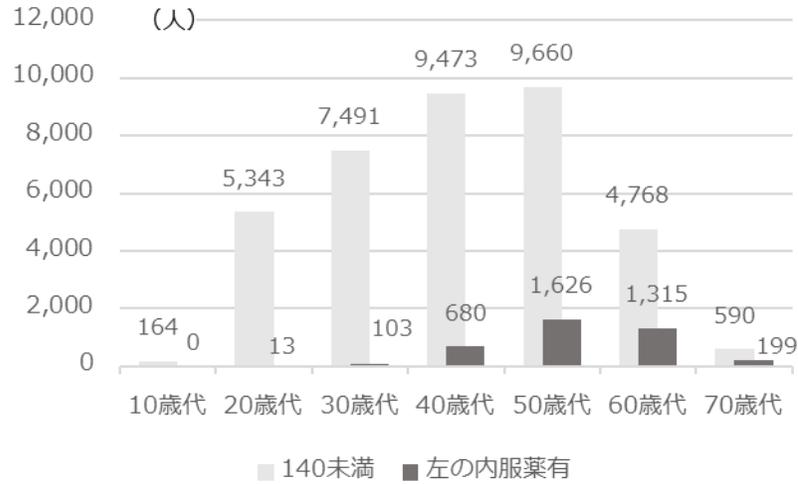


LDL (男性)

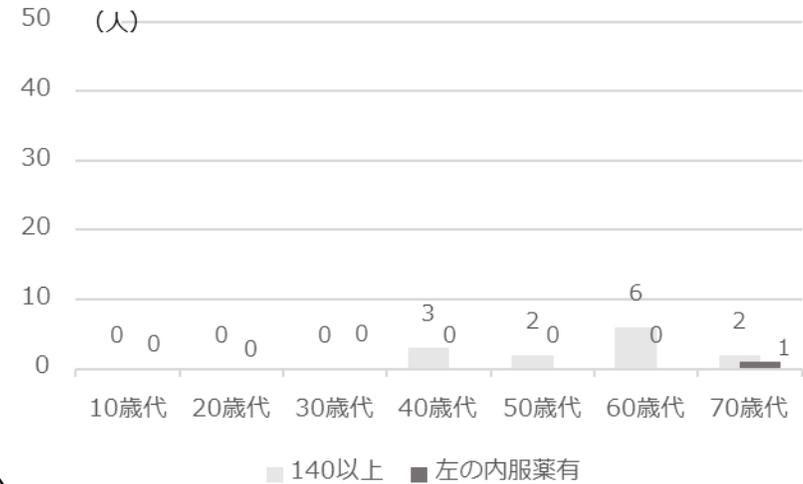
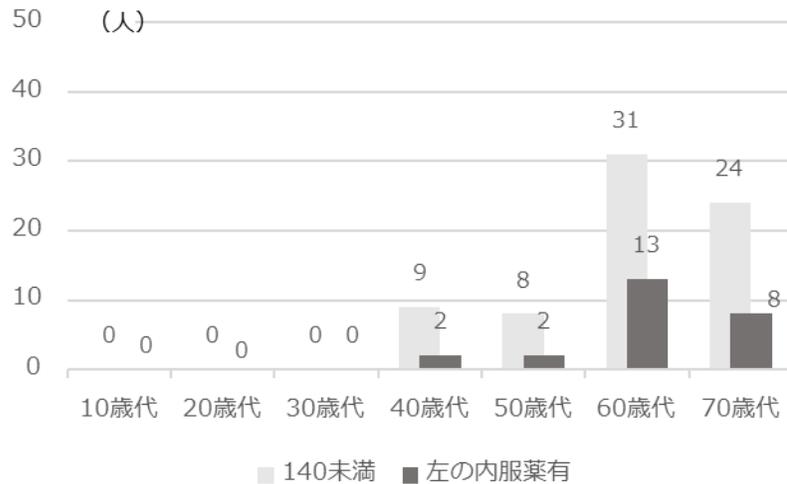
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

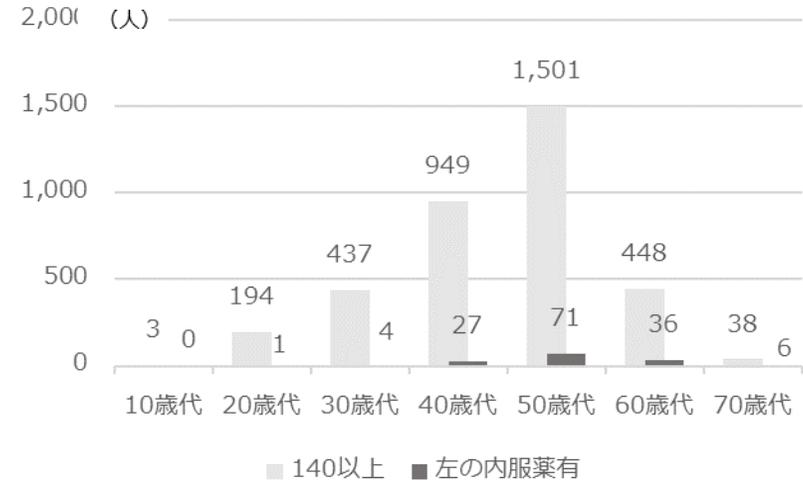
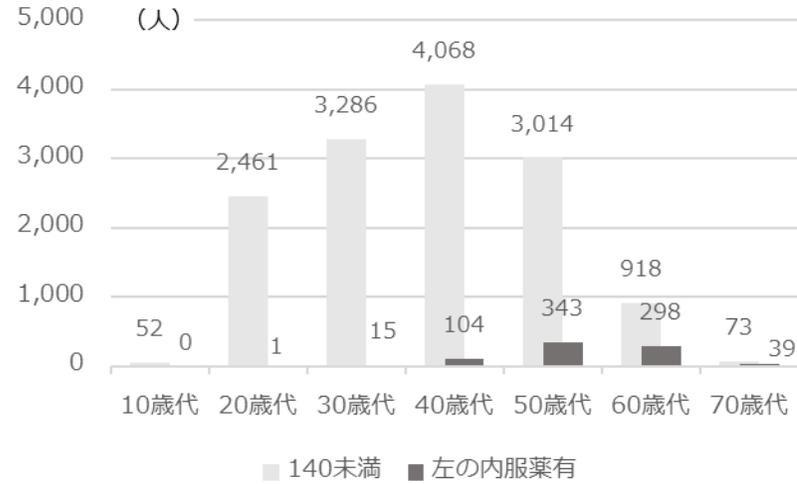


LDL (女性)

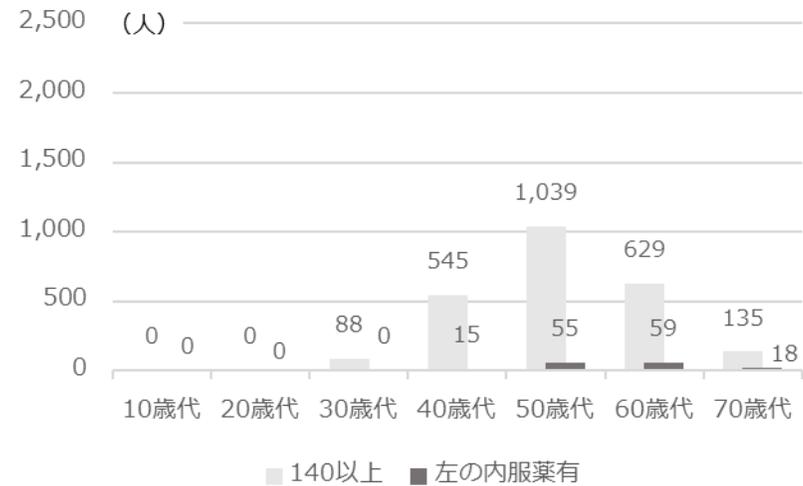
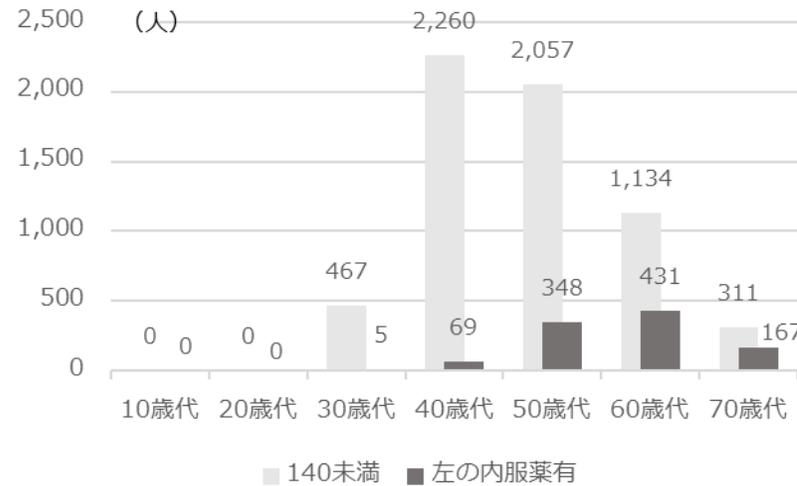
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

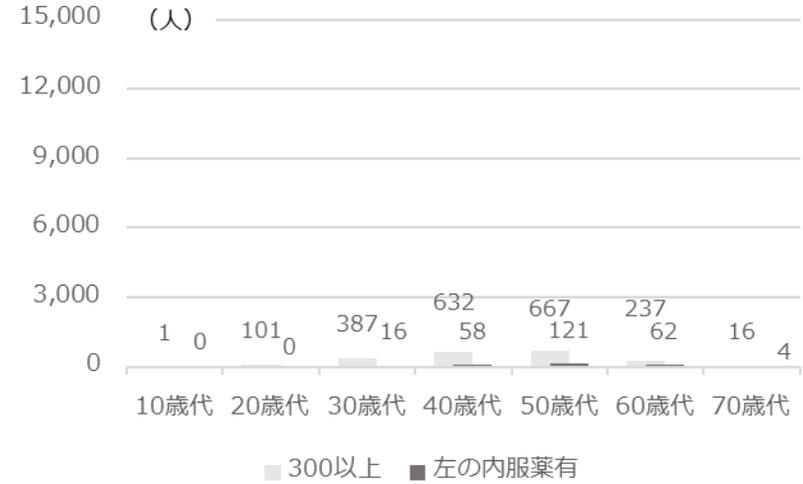
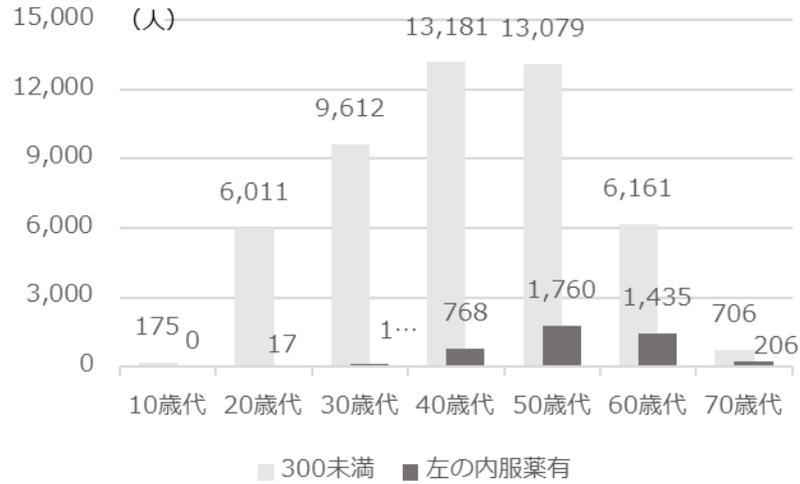


中性脂肪（男性）

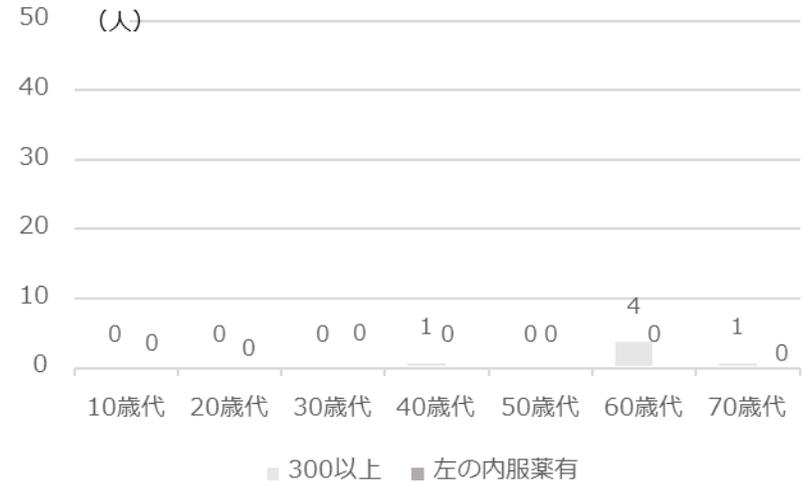
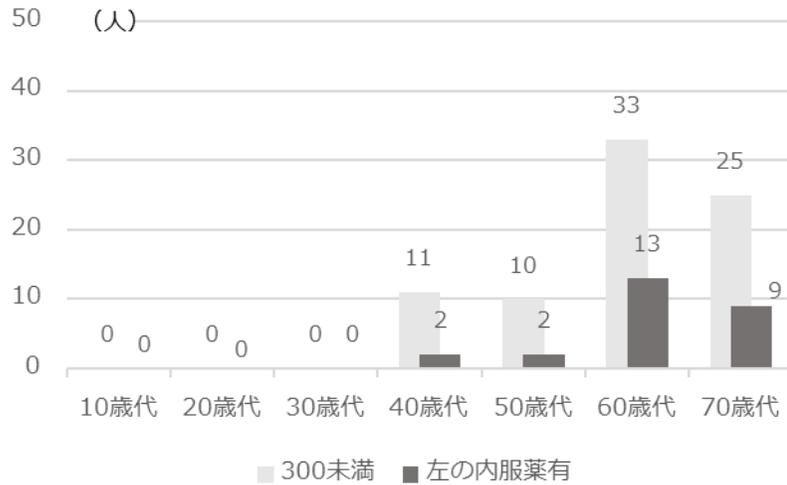
基準値内

受診勧奨値

被保険者



被扶養者

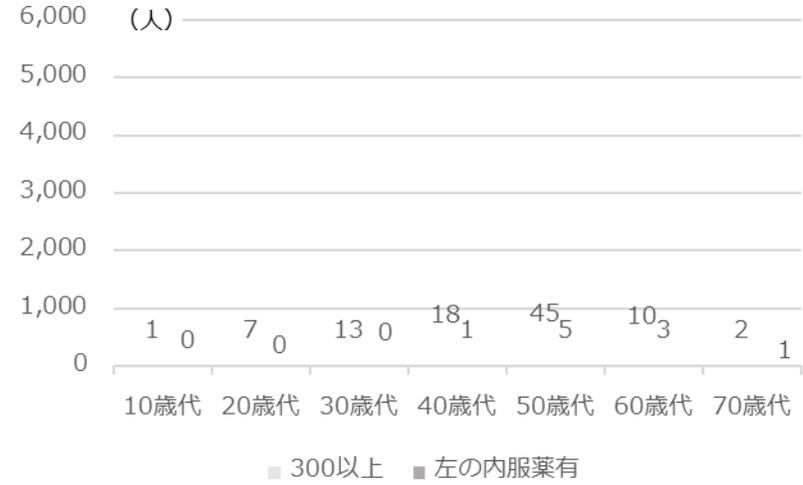
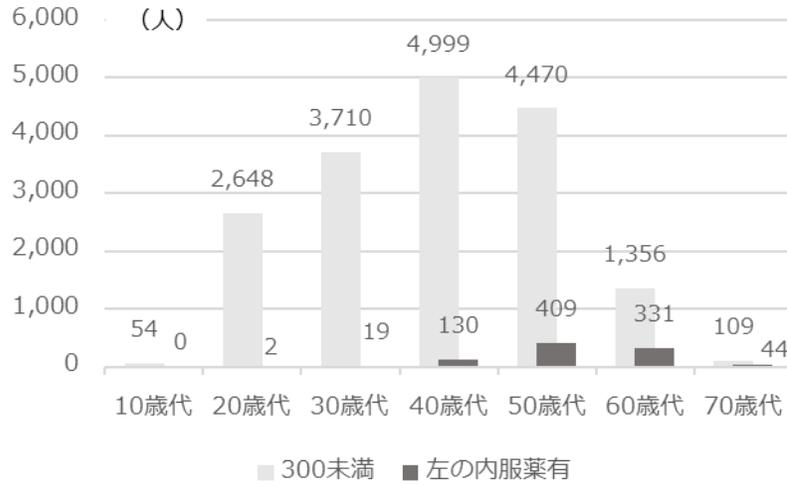


中性脂肪（女性）

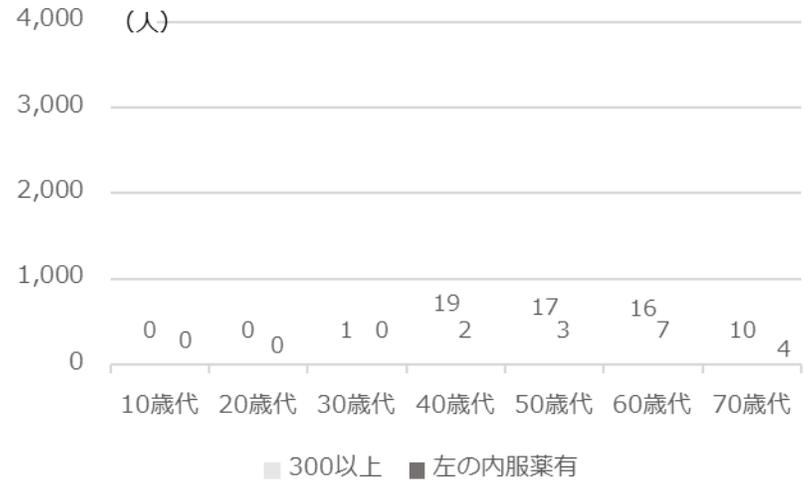
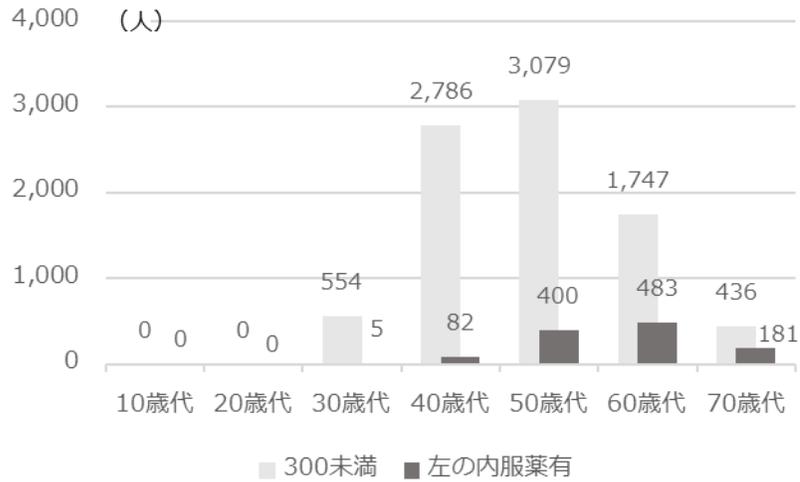
基準値内

受診勧奨値

被保険者

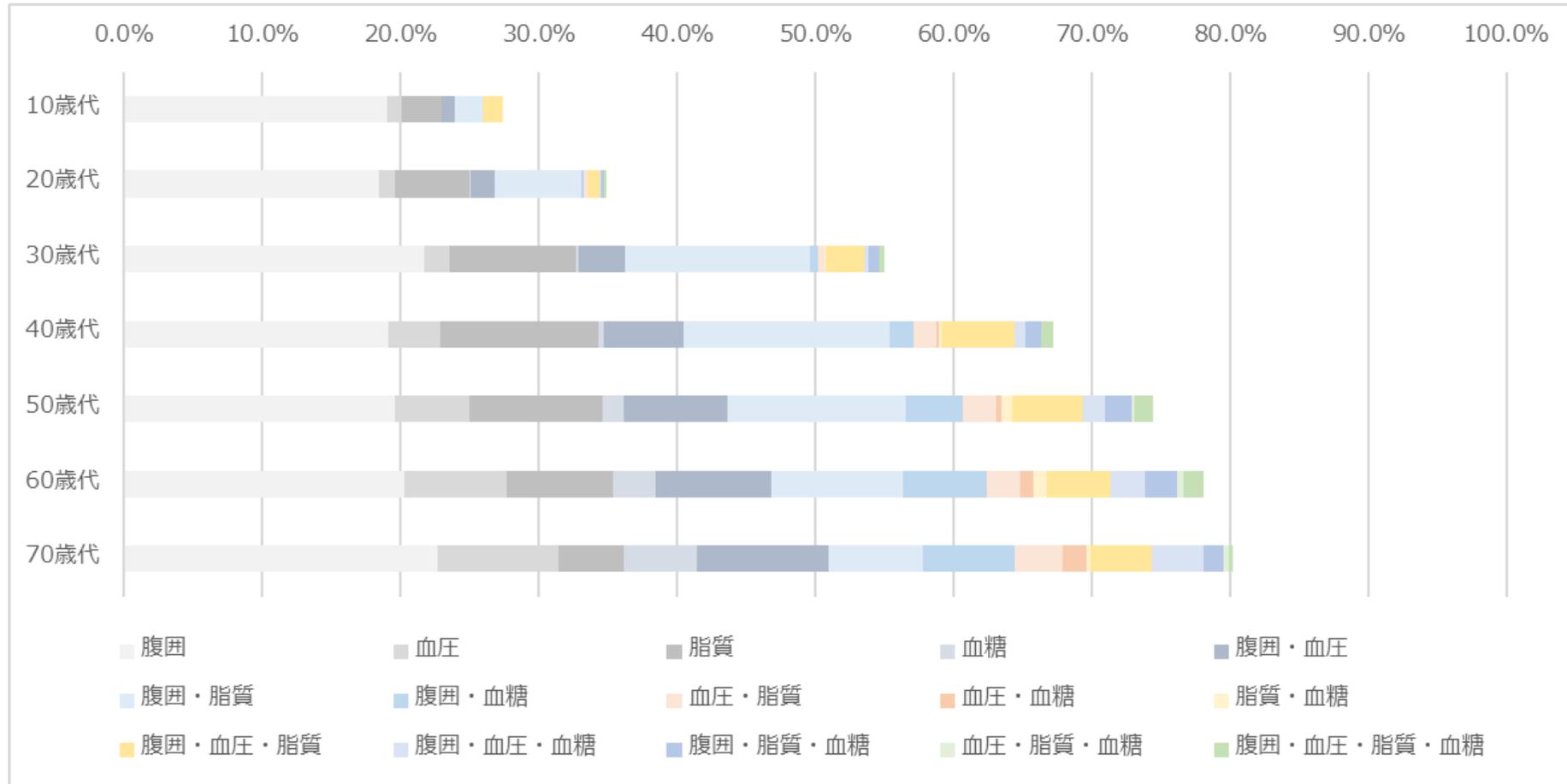


被扶養者

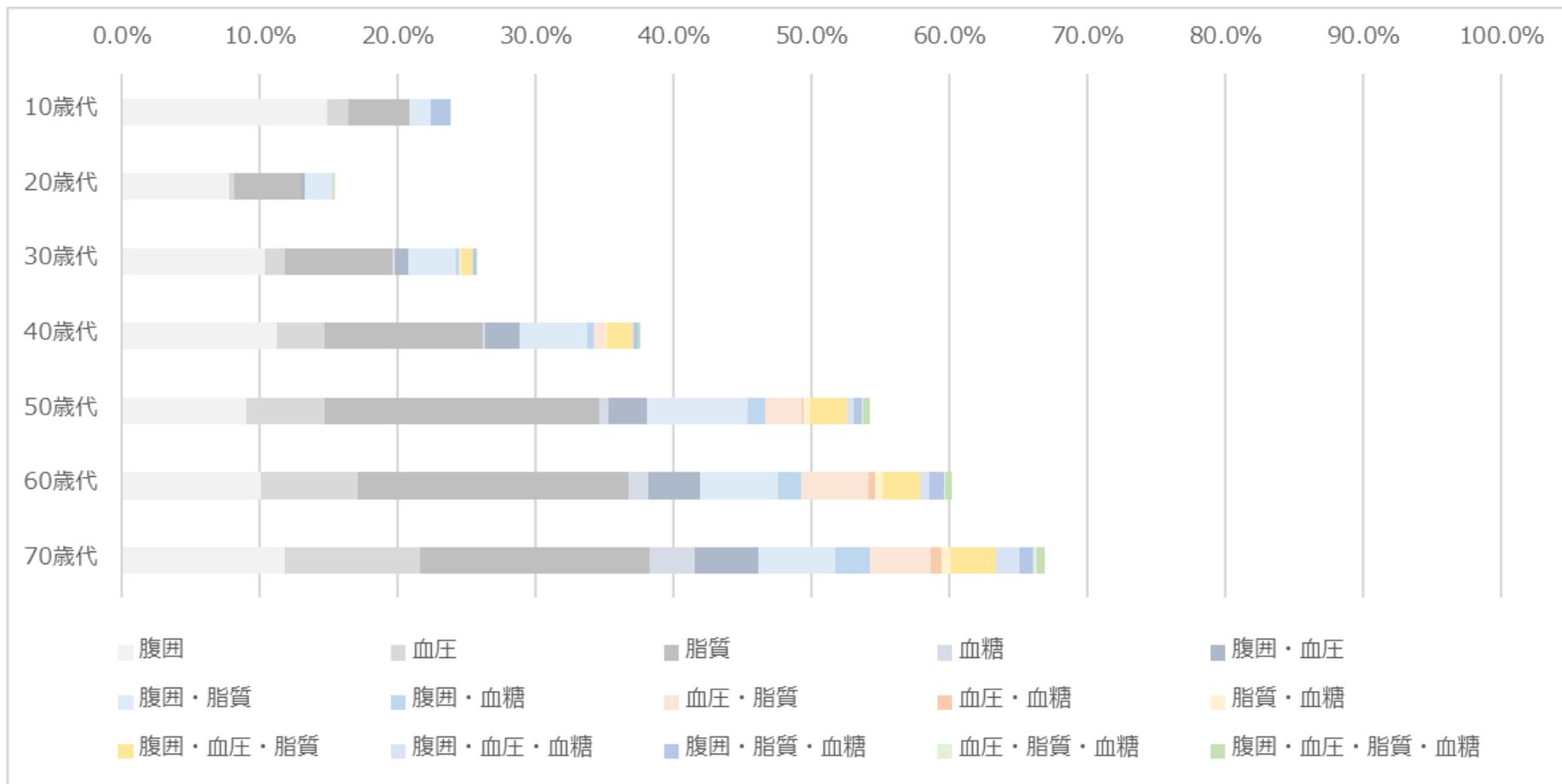


受診勧奨保有リスク

男性



女性

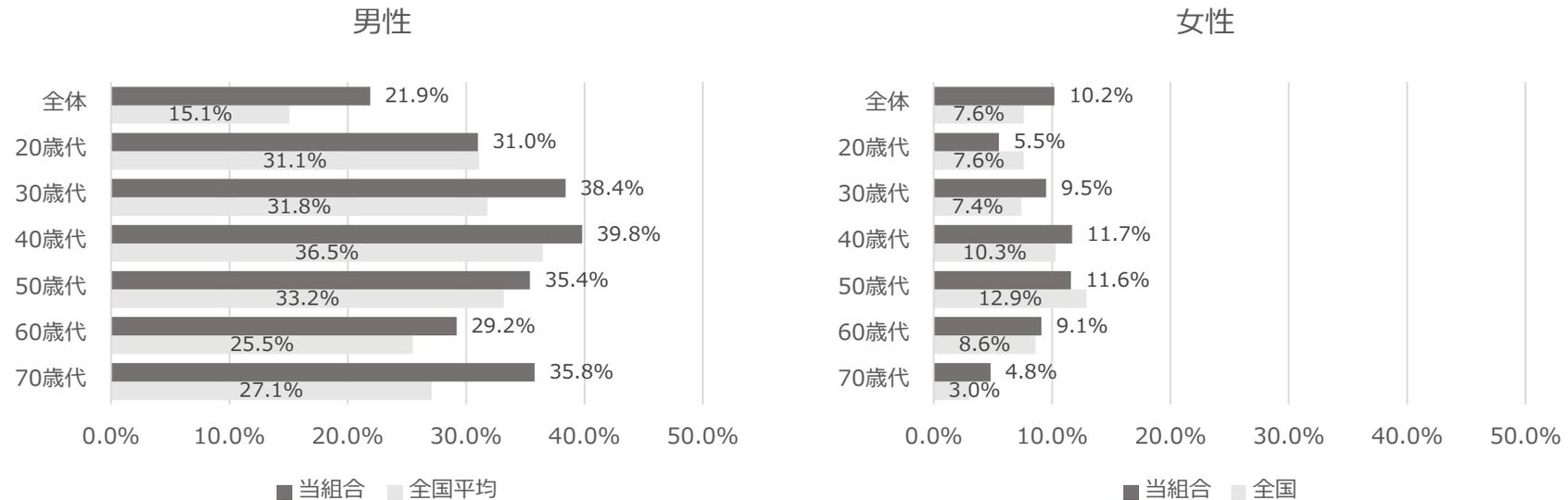


問診表から見た喫煙状況

	男性					女性				
	非喫煙者	喫煙者	計	喫煙率	喫煙率 (前年度)	非喫煙者	喫煙者	計	喫煙率	喫煙率 (前年度)
20歳代	5,016人	2,068人	7,084人	29.2%	29.3%	2,786人	161人	2,947人	5.5%	5.8%
30歳代	6,858人	3,766人	10,624人	35.4%	37.0%	3,968人	417人	4,385人	9.5%	9.5%
40歳代	8,335人	5,501人	13,836人	39.8%	40.0%	6,912人	913人	7,825人	11.7%	11.9%
50歳代	8,479人	5,287人	13,766人	38.4%	39.0%	6,729人	885人	7,614人	11.6%	11.7%
60歳代	4,442人	1,998人	6,440人	31.0%	31.5%	2,844人	286人	3,130人	9.1%	9.0%
70歳代	585人	164人	749人	21.9%	22.2%	532人	27人	559人	4.8%	3.5%
全体	33,715人	18,784人	52,499人	35.8%	36.4%	23,771人	2,689人	26,460人	10.2%	10.3%

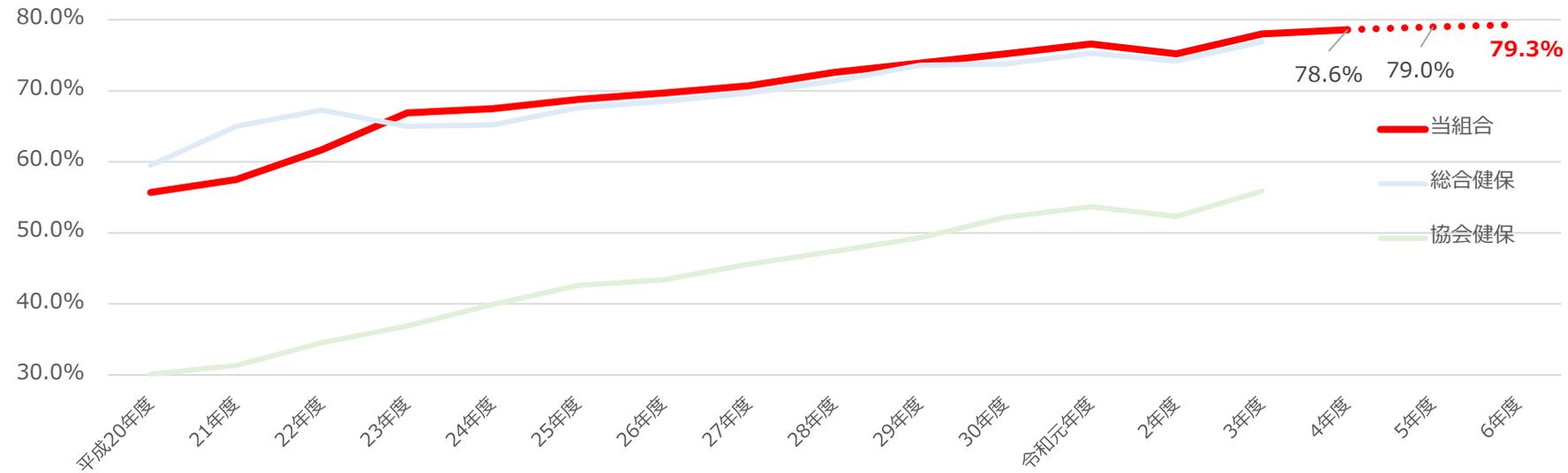
全国平均との喫煙率の比較

※全国平均は令和元年度国民健康・栄養調査より（厚生労働省）

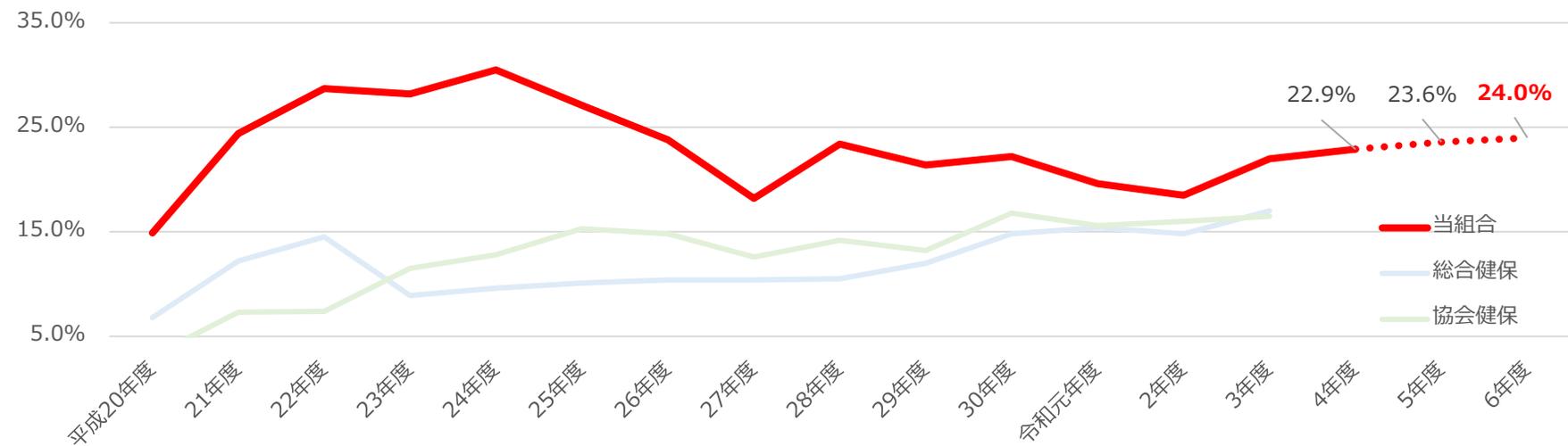


特定健診・特定保健指導実施状況

特定健診実施状況経年推移

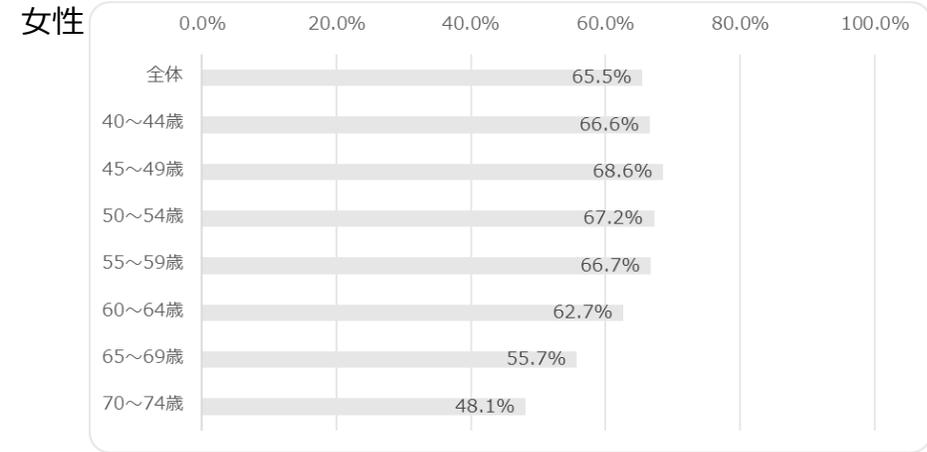
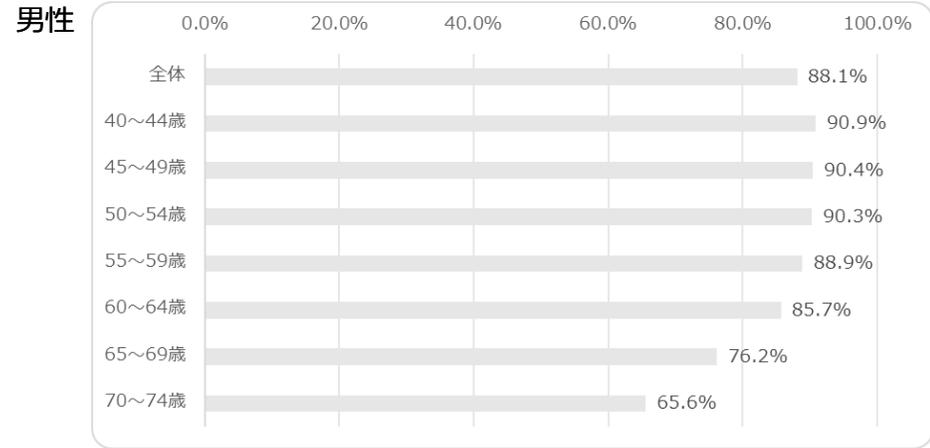


特定保健指導実施状況経年推移

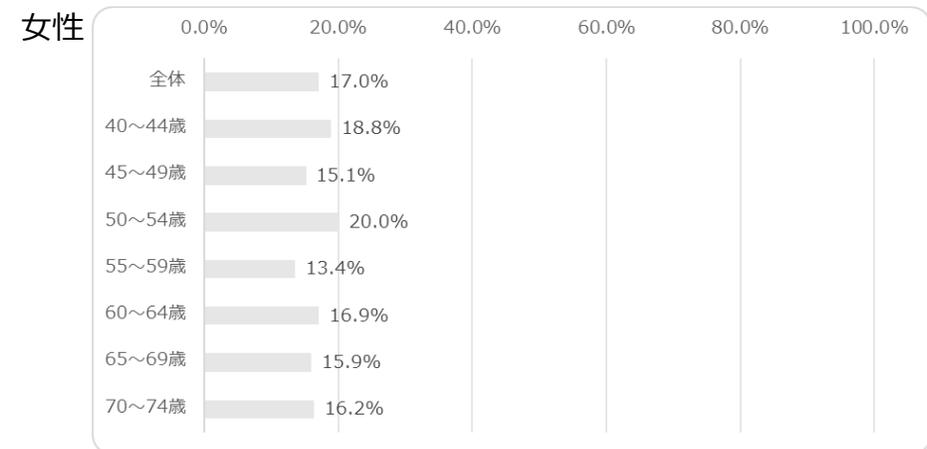
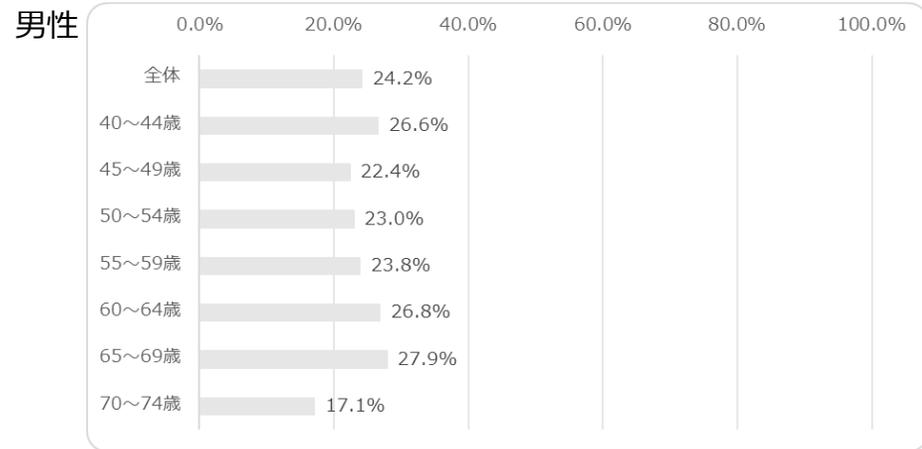


令和4年度 当組合男女別年齢階層別状況

特定健診実施率



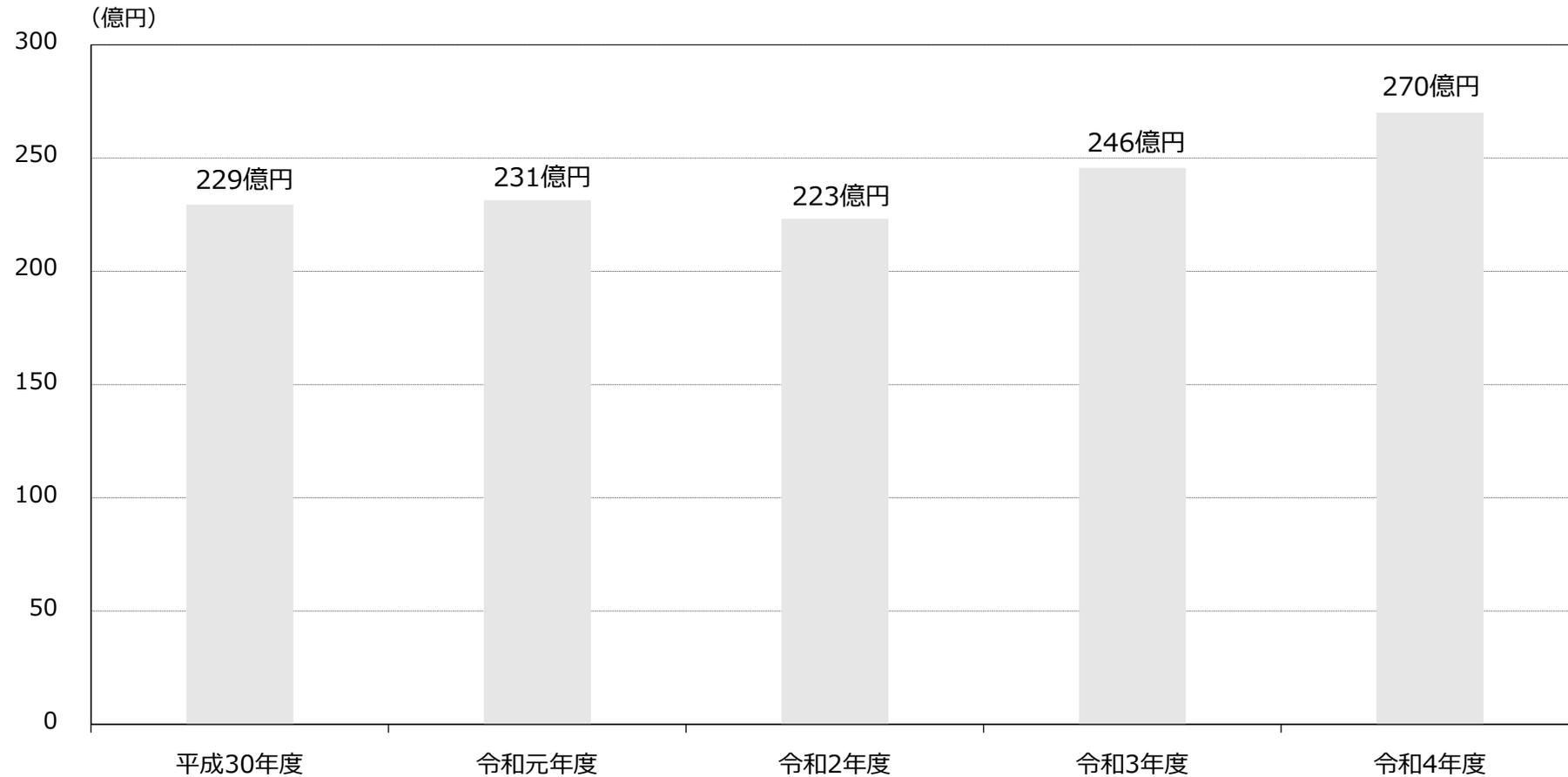
特定保健指導実施率



当組合の医療費総額推移

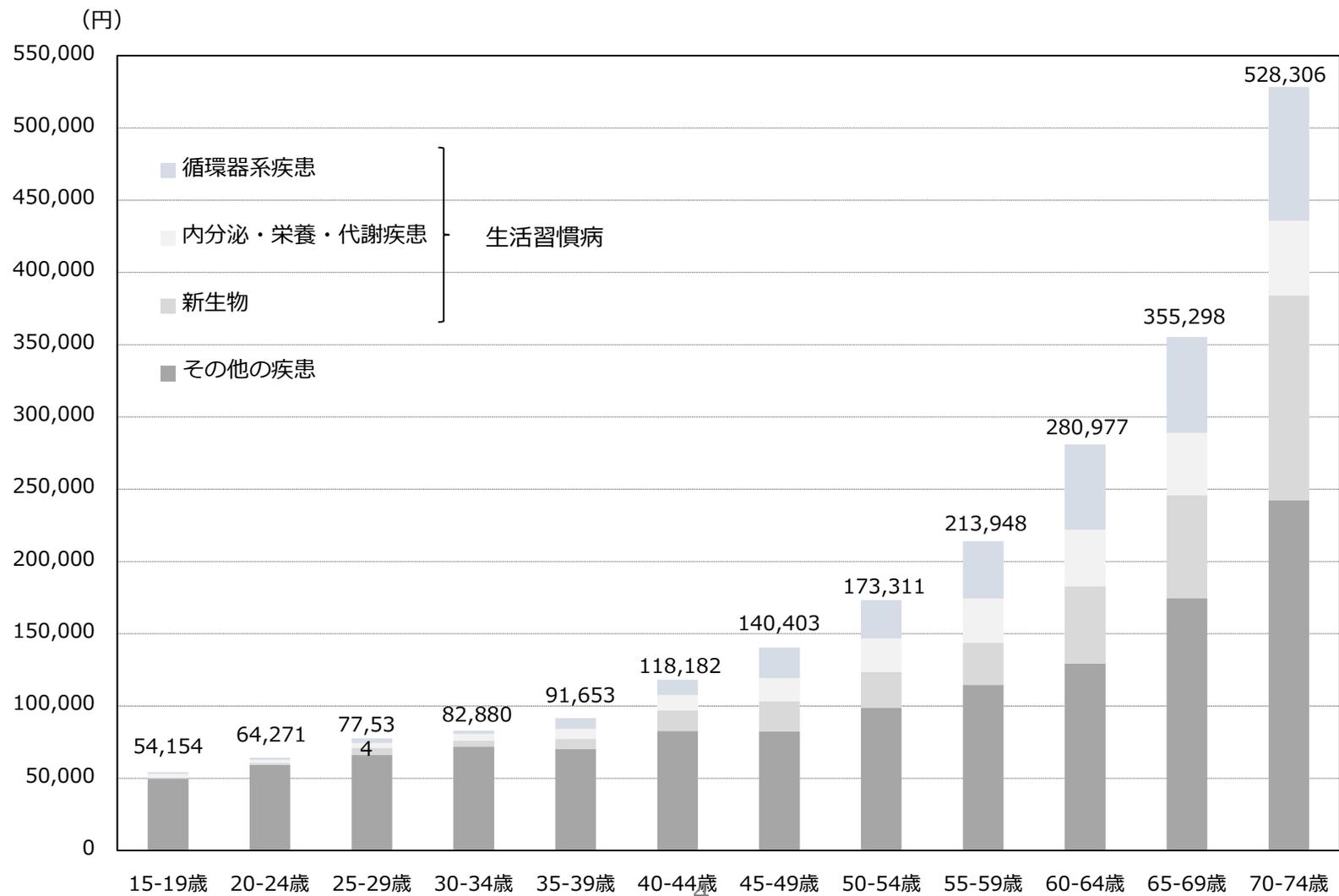
医療費総額（レセプトの総点数×10円）は、毎年増加（平均3億円）してきていたが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による受診控え等により大幅に減少した。

令和3年度以降は同ウイルスの感染状況に関わらず感染拡大前の令和元年度を大きく上回り増嵩し、令和4年度においてもその傾向は顕著となった（前年比+24億円）。

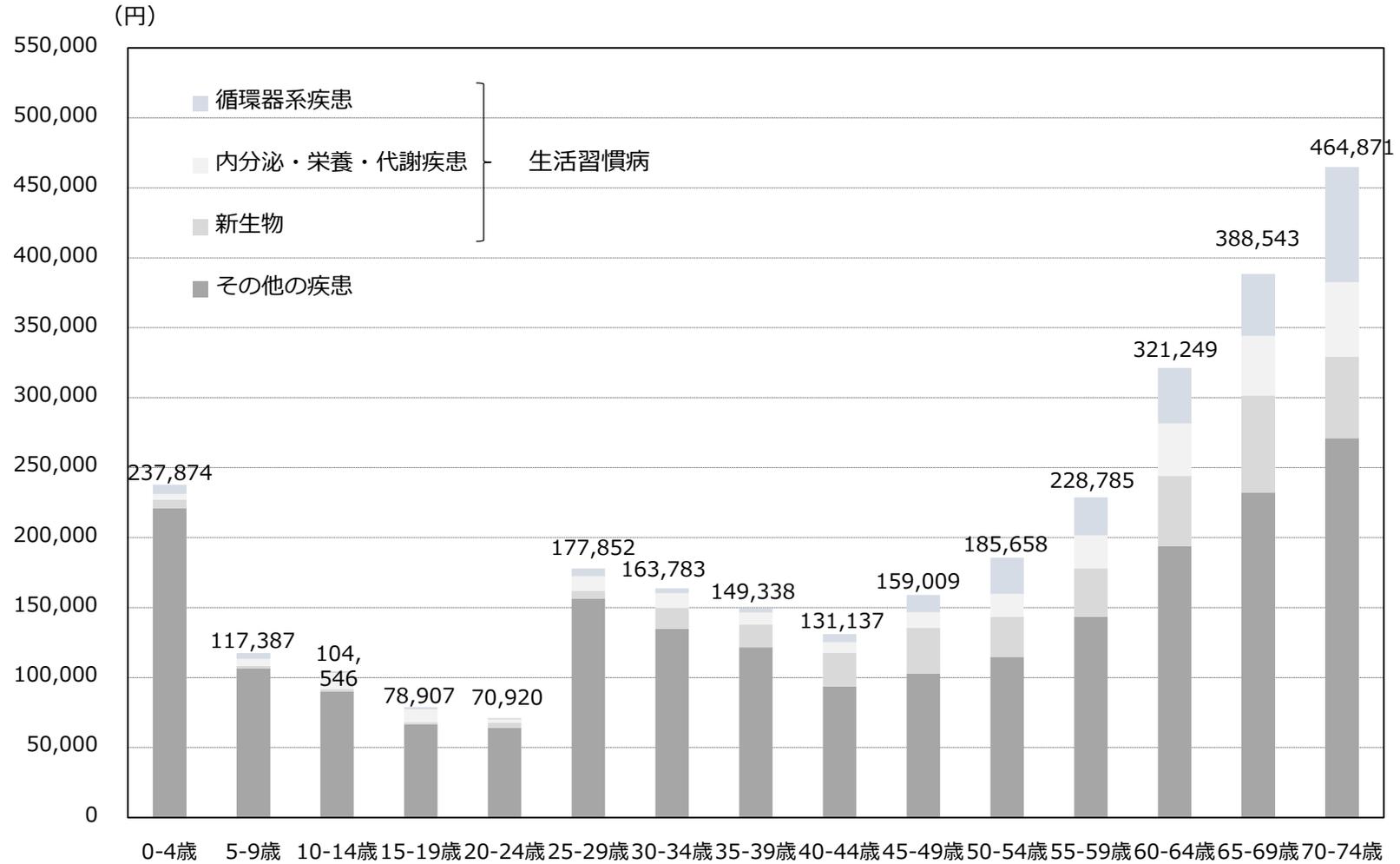


令和4年度年齢階層別・疾病分類別一人あたり医療費

被保険者



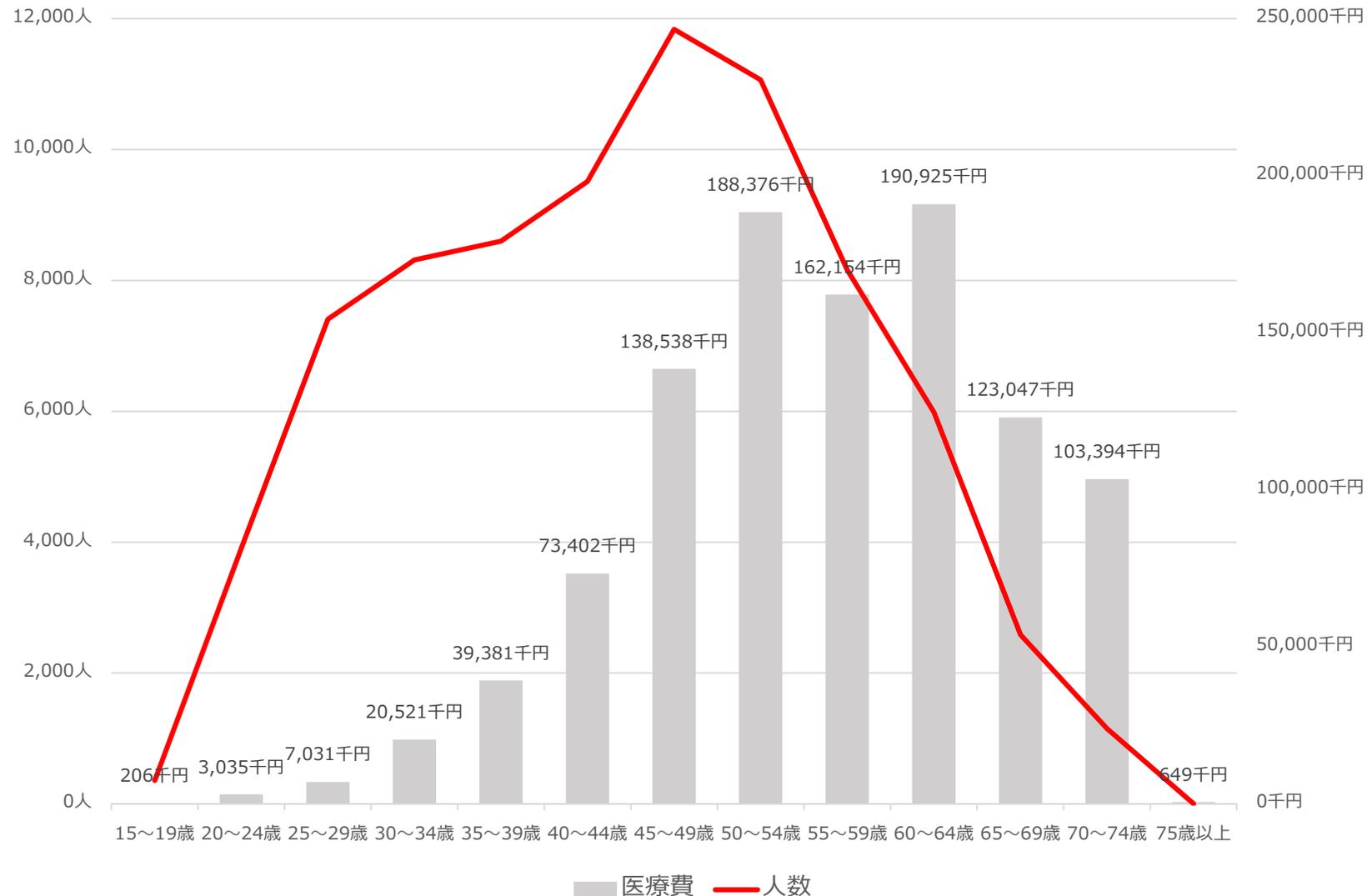
被扶養者



令和4年度被保険者の年齢構成と年齢別悪性新生物（がん）医療費（調剤含む）

がんの医療費は年齢とともに増大している。

当組合における被保険者の年齢構成は40歳代がピークとなるが、がんの医療費は被保険者数が減少傾向となる50～60歳代にピークを迎える。



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ, エ, オ, カ	<ul style="list-style-type: none"> 男女とも40代から50代で肥満者が増加する傾向がある。 男女ともに年齢を重ねるごとにメタボ該当者割合が高くなる傾向がある。 メタボ予備軍は各年齢階層を問わず、一定数存在する。 	➔	コラボヘルスを通じた事業主との連携を推進し、加入者との健康リスク共有に取り組む。	✓
2	キ, ク, ス, セ, ソ, タ, チ, ツ, テ, ト	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を重ねるごとに薬の服薬者が増加する傾向がある。 年齢を重ねるごとに受診勧奨対象者の増加が見られる。 男性の場合、脂質リスクは年齢を重ねるごとに減少が見られる。 女性の場合、年齢を重ねるごとに脂質リスクが増加している。 年齢を重ねるごとに血圧、血糖、脂質と複合的な要因で受診勧奨リスク対象者が増加している。 	➔	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。	
3	ナ	<ul style="list-style-type: none"> 男性加入員は各年代で全国平均の喫煙者割合を上回っている。 女性加入員も全国平均の喫煙者割合を上回っている年代が見られる。 男女ともに全体平均から比較すると全国平均の喫煙者割合を上回っている。 	➔	健康寿命の延伸を見据え、禁煙の推奨や喫煙が関連する疾病の周知を強化。	
4	ニ, ヌ	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を重ねるごとに特定健診実施率の減少が見られるため、年代上昇に伴っても実施率を維持できる取り組みが必要。 男性加入員の特定保健指導実施率は40代、50代で各年代よりも減少しているため、実施率向上への取り組みが必要。 	➔	健診当日に行う初回面接の実施体制の整備、訪問指導、リモート指導の周知を図り健診・指導の実施率の維持、向上を目指す。	
5	ケ, コ, サ, シ	<ul style="list-style-type: none"> 高血糖者は年齢を重ねるごとに増加し、薬の内服者も増加する傾向が見られる。 	➔	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。 糖尿病と糖尿病性腎症など複合的な症状のある加入者に対しては保健指導を強化する。	
6	ネ	<ul style="list-style-type: none"> 年度ごとに継続して医療費上昇が見られる。 	➔	医療費総額の年々の増加を鑑み、はしご受診、なんでも大病院受診等の削減を呼びかける掲示やリーフレットの配布強化。	
7	ノ, ハ, ヒ	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を重ねるごとに一人当たりの医療費上昇が見られる。 生活習慣病に関わる疾患としては循環器系疾患と新生物の割合が高い。 ガン医療費は年代を重ねるごとに増加している。 当組合の年齢構成は40代がピークであるが、ガン医療費のピークは50代から60代である。 	➔	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスする。長期的な視野で、早期の医療機関受診へ繋げ、年齢が上昇してからの医療給付削減を目指す。	
8	未選択	健康無関心層への働きかけ	➔	健康経営の体制構築を図るツールとしての活用奨励	
9	未選択	特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入	➔	ライフスタイルが固定化される40歳前で正しい生活習慣、食生活の知識を身につける	
10	未選択	一定数の未受診者への働きかけ	➔	将来的な医療費適正化に繋げる	
11	未選択	活発な意見交換	➔	加入事業所の意見を可能な限り反映させた保険事業の企画、運営、推進	
12	未選択	健保組合と加入者の知識共有	➔	健保組合業務と事業の理解促進	

13 未選択

口腔疾患への意識づけ



糖尿病などの生活習慣病の発症リスク減少への取り組み

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	加入事業所が約1,400事業所、加入員は約14万人の大規模な総合健康保険組合。事業所の拠点は全国に点在している。	→	加入事業所及び加入員は全国に点在していることから、公平性を保つ保健事業の運営が必要である。
2	加入員の年齢階層別構成割合は50歳から54歳が最も高く、次いで45歳から49歳となっている。	→	加入員の年齢階層別構成割合と疾病分類別の医療費の関連性を見つける必要がある。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	毎年、当組合への健診結果データ未到達者の被保険者・被扶養者が、健診未受診者また法定健診実施者であるのか否か把握が不十分である。	→	全国に点在している多くの加入者を有する当組合は、完全にこれらを把握するのは難しいが、今後ともコラボヘルスの展開や健康管理委員制度強化などを行い、調査・確認を進めていく必要がある。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

医療保険者として、医療費適正化の観点を踏まえ、生活習慣病の重症化予防対策の中で、健診結果で健康リスクを保有している者を減らすことを目的とする。
生活習慣病は自覚症状が出にくく気づかぬまま重症化し、QOL（生活の質）の維持を損ねて、「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「腎不全」等の深刻な疾患を招く恐れがある。これらの疾患を予防することで健康寿命の延伸を図り、ひいては医療費の適正化に繋げる。

事業全体の目標

- ・特定健診受診率・特定保健指導実施率を向上させる。
- ・健診結果から要治療と判定された者が受診に結び付く行動を増加させる。
- ・ジェネリック医薬品の使用促進を増加させる。
- ・メタボリックシンドロームの割合を減少させる。
- ・特定保健指導による特定保健指導対象者の割合を減少させる。

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	健康ポータルサイト
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	機関紙発行「健康と生活」
保健指導宣伝	機関紙発行「フォトニュース」
保健指導宣伝	健康スコアリングレポート
保健指導宣伝	健康管理通信
保健指導宣伝	健康企業宣言
保健指導宣伝	健康経営サポート

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	受診勧奨通知発送事業
保健指導宣伝	39歳で特定保健指導基準該当者に対する生活習慣改善通知発送事業
保健指導宣伝	高血圧かつ喫煙者に対する生活習慣改善通知発送事業
保健指導宣伝	35歳を迎える被保険者に対する個別面接
保健指導宣伝	40歳未満の特定保健指導基準該当者に対する個別面接

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被扶養者と任意継続被保険者除く）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者と任意継続被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	講習会・研修会
保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	健康保険のしおり
保健指導宣伝	日本歯周病学会による組合機関紙「健康と生活」への寄稿
保健指導宣伝	歯の治療を啓発するリーフレットの配布
保健指導宣伝	特定保健指導時の歯周病対策
保健指導宣伝	歯周病予防に関する取り組みを様々なシーンで啓発
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	療養費内容照会（柔道整復師分）
保健指導宣伝	後発医薬品の使用促進
保健指導宣伝	ポリファーマシー対策
保健指導宣伝	メンタルヘルス対策
疾病予防	一般健診（委託）
疾病予防	生活習慣病健診（委託）
疾病予防	婦人生活習慣病健診（委託）
疾病予防	再検査（委託）
疾病予防	がん検診補助金
疾病予防	婦人生活習慣病健診補助金
疾病予防	一般健診補助金
疾病予防	日帰り人間ドック補助金
疾病予防	インフルエンザ予防接種費用補助金
疾病予防	脳検査
疾病予防	女性の健康・育児相談窓口
体育奨励	野球大会
体育奨励	歩こう大会「潮干狩り」
体育奨励	WEBウォークラリー
体育奨励	体力づくり施設利用補助金
体育奨励	ヘルシーアップ
直営保養所	熱海保養所「悠楽館」
直営保養所	軽井沢保養所「白樺」
直営保養所	魚沼保養所「湯之谷けんぼセンター」
その他	半日人間ドック
その他	生活習慣病健診
その他	一般健診
その他	特定健診
その他	契約保養所
その他	体育園
その他	健保会館

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						実施計画									
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標									
職場環境の整備																					
保健指導宣伝	1,5	既存	健康ポータルサイト	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,エ	組合ホームページや事業所向けリーフレットによる周知、利用促進	ア,シ	加入者自身の医療費通知や健康情報などの閲覧機能を搭載	・登録者数 被保険者10,000人 被扶養者400人	・登録者数 被保険者12,500人 被扶養者500人	・登録者数 被保険者15,000人 被扶養者600人	・登録者数 被保険者17,500人 被扶養者700人	・登録者数 被保険者20,000人 被扶養者800人	・登録者数 被保険者22,500人 被扶養者900人	加入者個人の健康管理、健康リテラシーの向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
	登録者数(【実績値】6,930人 【目標値】令和6年度：10,400人 令和7年度：13,000人 令和8年度：15,600人 令和9年度：18,200人 令和10年度：20,800人 令和11年度：23,400人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
	1,5	既存	ホームページ	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページによる保健事業の周知、利用促進	ア,シ	ホームページの管理、運営	・迅速且つ正確な情報発信	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	組合からの告知事項を遅滞なく周知するため	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	年間アクセス数(【実績値】285,532件 【目標値】令和6年度：300,000件 令和7年度：310,000件 令和8年度：315,000件 令和9年度：320,000件 令和10年度：325,000件 令和11年度：333,000件)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
	1,5	既存	機関紙発行「健康と生活」	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページや事業所向け発送による周知、利用促進	ア,シ	健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年6回奇数月に発行	・読み手の目線に立ち、正確な情報提供	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	情報発信、健康意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	年間発行部数(【実績値】280,360部 【目標値】令和6年度：281,000部 令和7年度：282,000部 令和8年度：283,000部 令和9年度：284,000部 令和10年度：285,000部 令和11年度：286,000部)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
	1,2	既存	機関紙発行「フォトニュース」	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページや事業所向けリーフレットによる周知、利用促進	ア,シ	健保の運営、収支、健診案内、健康情報などについて、年6回奇数月に発行	・ポスターの特性を活かした情報提供	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	情報発信、健康意識の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	送付件数(【実績値】9,750件 【目標値】令和6年度：9,750件 令和7年度：9,750件 令和8年度：9,750件 令和9年度：9,750件 令和10年度：9,750件 令和11年度：9,750件)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
	1,2	既存	健康スコアリングレポート	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページや事業所向けリーフレットによる周知、利用促進	ア,シ	健康状態や医療費、健康づくりへの取り組み状況等について全国平均や加入員平均と比較したレポートを送付	・厚労省版5月、組合オリジナル版9月に発送	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	加入事業所と当組合が健康づくりに向けた連携を深めるためのコミュニケーションツール	健康無関心層への働きかけ
	スコアリングレポート送付事業所(【実績値】365件 【目標値】令和6年度：375件 令和7年度：385件 令和8年度：395件 令和9年度：405件 令和10年度：415件 令和11年度：425件)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
1,2	既存	健康管理通信	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページや事業所向けリーフレットによる周知、利用促進	ア,シ	健康管理委員へ定期的な健康情報などの情報発信	・事業所の健康管理担当者との連携を深めるツールとして、定期的なメール送信	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	加入事業所との協力・連携の仕組みを構築	該当なし	
送信数(【実績値】227件 【目標値】令和6年度：230件 令和7年度：235件 令和8年度：240件 令和9年度：245件 令和10年度：250件 令和11年度：255件)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)									
1,2	既存	健康企業宣言	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページや事業所向けリーフレットによる周知、利用促進	ア,シ	健康企業宣言の推進と健康優良企業認定に向けたサポート	・目標宣言事業所95社	・目標宣言事業所100社	・目標宣言事業所105社	・目標宣言事業所110社	・目標宣言事業所115社	・目標宣言事業所120社	健康企業宣言の実施とサポート	健康無関心層への働きかけ		

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
宣言事業所数(【実績値】92件 【目標値】令和6年度:95件 令和7年度:100件 令和8年度:105件 令和9年度:110件 令和10年度:115件 令和11年度:120件)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)							
1,2	既存	健康経営サポート	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,ス	組合ホームページや事業所向けリーフレットによる周知、利用促進	ア,シ	健康経営法人取得に向けた取り組みサポート	・健康企業宣言などの健康経営に積極的な事業所へのサポート事業	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	健康経営の推進	健康無関心層への働きかけ
健康経営優良法人相談(【実績値】10件 【目標値】令和6年度:12件 令和7年度:14件 令和8年度:16件 令和9年度:18件 令和10年度:20件 令和11年度:22件)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)							

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	2	既存	受診勧奨通知発送事業	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	健診結果において要治療判定でありながら未受診者への受診勧奨通知を発送	シ	健保組合	月1回該当者に発送	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。経年での医療費増加の現状を鑑み、早期の治療、医療機関受診から将来的な健保財政負担軽減へ繋げる。	・年齢を重ねるごとに薬の服薬者が増加する傾向がある。 ・年齢を重ねることに受診勧奨対象者の増加が見られる。 ・男性の場合、脂質リスクは年齢を重ねることに減少が見られる。 ・女性の場合、年齢を重ねることに脂質リスクが増加している。 ・年齢を重ねることに血圧、血糖、脂質と複合的な要因で受診勧奨リスク対象者が増加している。
発送件数(【実績値】1,300件 【目標値】令和6年度:1,300件 令和7年度:1,300件 令和8年度:1,300件 令和9年度:1,300件 令和10年度:1,300件 令和11年度:1,300件)-												受診者(【実績値】300人 【目標値】令和6年度:310人 令和7年度:320人 令和8年度:330人 令和9年度:340人 令和10年度:350人 令和11年度:360人)-								
2	既存	39歳で特定保健指導基準該当者に対する生活習慣改善通知発送事業	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	39歳の健診時において、特定保健指導基準に該当した者に生活習慣改善通知を発送	シ	健保組合	月1回該当者に発送	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。経年での医療費増加の現状を鑑み、早期の治療、医療機関受診から将来的な健保財政負担軽減へ繋げる。	・年齢を重ねるごとに薬の服薬者が増加する傾向がある。 ・年齢を重ねることに受診勧奨対象者の増加が見られる。 ・男性の場合、脂質リスクは年齢を重ねることに減少が見られる。 ・女性の場合、年齢を重ねることに脂質リスクが増加している。 ・年齢を重ねることに血圧、血糖、脂質と複合的な要因で受診勧奨リスク対象者が増加している。 ・高血糖者は年齢を重ねることに増加し、薬の内服者も増加する傾向が見られる。	
発送件数(【実績値】240件 【目標値】令和6年度:240件 令和7年度:240件 令和8年度:240件 令和9年度:240件 令和10年度:240件 令和11年度:240件)-												翌年度改善者(【実績値】20人 【目標値】令和6年度:25人 令和7年度:30人 令和8年度:35人 令和9年度:40人 令和10年度:45人 令和11年度:50人)-								
2	既存	高血圧かつ喫煙者に対する生活習慣改善通知発送事業	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	健診の結果、血圧の検査項目がC判定で、喫煙している者に対して生活習慣改善通知を発送	シ	健保組合	月1回該当者に発送	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。経年での医療費増加の現状を鑑み、早期の治療、医療機関受診から将来的な健保財政負担軽減へ繋げる。	・男性加入員は各年代で全国平均の喫煙者割合を上回っている。 ・女性加入員も全国平均の喫煙者割合を上回っている年代が見られる。 ・男女ともに全体平均から比較すると全国平均の喫煙者割合を上回っている。	
発送件数(【実績値】1,000件 【目標値】令和6年度:1,000件 令和7年度:1,000件 令和8年度:1,000件 令和9年度:1,000件 令和10年度:1,000件 令和11年度:1,000件)-												翌年度改善者(【実績値】100人 【目標値】令和6年度:105人 令和7年度:110人 令和8年度:115人 令和9年度:120人 令和10年度:125人 令和11年度:130人)-								
2	既存	35歳を迎える被保険者に対する個別面接	全て	男女	35～35	加入者全員	1	ア,ス	35歳の節目健診後の生活習慣の改善や現状を維持させるために個別面接の実施	シ	健保組合	常時該当者に実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。経年での医療費増加の現状を鑑み、早期の治療、医療機関受診から将来的な健保財政負担軽減へ繋げる。	特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入	
面接者数(【実績値】50人 【目標値】令和6年度:60人 令和7年度:70人 令和8年度:80人 令和9年度:90人 令和10年度:100人 令和11年度:110人)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
2	既存	40歳未満の特定保健指導基準該当者に対する個別面接	全て	男女	16～39	加入者全員	1	ア,ス	40歳未満の特定保健指導基準該当者へ生活習慣改善のための個別面接を実施	シ	健保組合	常時該当者に実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	健康寿命の延伸を見据え、重症化予防の重要性をアナウンスし、早期の医療機関受診へ繋げる。経年での医療費増加の現状を鑑み、早期の治療、医療機関受診から将来的な健保財政負担軽減へ繋げる。	特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入	
面接者数(【実績値】5人 【目標値】令和6年度：10人 令和7年度：15人 令和8年度：20人 令和9年度：25人 令和10年度：30人 令和11年度：35人)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存	特定健診(被扶養者と任意継続被保険者除く)	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ア,ス	事業主が行う定期健診と共同実施	シ	健保組合	・目標受診率90.7% ・契約外医療機関のデータ授受	・目標受診率91.2% ・契約外医療機関のデータ授受	・目標受診率91.5% ・第4期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを行う	・目標受診率93.0%	・目標受診率95.2%	・目標受診率96.4%	特定健診の受診率の向上	一定数の未受診者への働きかけ
特定健診実施率(【実績値】90.1% 【目標値】令和6年度：90.7% 令和7年度：91.2% 令和8年度：91.5% 令和9年度：93.0% 令和10年度：95.2% 令和11年度：96.4%)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
3	既存	特定健診(被扶養者と任意継続被保険者)	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ア	未受診者の自宅へ受診勧奨通知の送付	シ	健保組合	・目標受診率45.7% ・みなし健診などを活用した受診率の向上	・目標受診率45.8%	・目標受診率46.7% ・第4期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを行う	・目標受診率47.6%	・目標受診率48.7%	・目標受診率50.1%	特定健診の受診率の向上	一定数の未受診者への働きかけ	
特定健診実施率(【実績値】45.9% 【目標値】令和6年度：45.7% 令和7年度：45.8% 令和8年度：46.7% 令和9年度：47.6% 令和10年度：48.7% 令和11年度：50.1%)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ア,ス	訪問保健指導、リモート保健指導等の受診しやすい環境を整備したうえで、特定保健指導の実施	シ	健保組合	・目標実施率24.0% ・民間企業のインセンティブを活用した取り組み	・目標実施率25.0%	・目標実施率26.0% ・第4期の中間評価を行い、翌年度以降の見直しを行う	・目標実施率27.0%	・目標実施率28.6%	・目標実施率30.0%	生活習慣病リスク者への早期介入	一定数の未受診者への働きかけ
特定保健指導実施率(【実績値】23.6% 【目標値】令和6年度：24.0% 令和7年度：25.0% 令和8年度：26.0% 令和9年度：27.0% 令和10年度：28.0% 令和11年度：30.0%)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
保健指導宣伝	8	既存	講習会・研修会	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ア,ス	保険給付業務や健康経営などの講習会・研修会を実施	シ	健保組合	適宜実施予定	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	社会保険及び健康づくりに関する知識の向上	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
評価指標の抽出が困難(アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
5	既存	健康管理委員会	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	健康情報、動画配信、リーフレット等の配布	シ	健保組合	適宜実施予定	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	社会保険及び健康づくりに関する知識の向上	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
リーフレット配布数(【実績値】260件 【目標値】令和6年度：265件 令和7年度：270件 令和8年度：275件 令和9年度：280件 令和10年度：285件 令和11年度：290件)-												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
5	既存	健康管理事業推進委員会	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	事業の企画立案、実施結果の分析・評価を行う	シ	健保組合	7月・11月に開催	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	保健事業の推進	活発な意見交換	
評価指標の抽出が困難(アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								
8	既存	健康保険のしおり	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ス	新規取得者、40歳以上の被扶養者及び任意継続被保険者・被扶養者に配布	シ	健保組合	新規取得者の取得時に配布	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	医療保険制度及び保険事業の啓発を図る	健保組合と加入者の知識共有	
評価指標の抽出が困難(アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難(アウトカムは設定されていません)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						実施計画								
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標								
8	既存		日本歯周病学会による組合機関紙「健康と生活」への寄稿	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	歯周病に関するテーマを特集して発行	シ	健保組合	機関紙「健康と生活」に定期連載	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	歯周病予防に関する啓発事業	口腔疾患への意識づけ
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		歯の治療を啓発するリーフレットの配布	全て	男女	61～61	加入者全員	1	ア,ス	歯周病などの歯の病気が糖尿病などの生活習慣病や、認知症のリスクを高めることや、医療費が支出金に及ぼす65歳までに歯の病気にして完治を促すリーフレットを配布	シ	健保組合	3月に世帯ごとに発送	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	歯周病予防に関する啓発事業	口腔疾患への意識づけ
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		特定保健指導時の歯周病対策	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ス	当組合スタッフが行う特定保健指導の初回面接時において、歯周病などの歯の病気についての保健指導を実施	シ	健保組合	直営健診センターで実施する健診時に特定保健指導該当者へ実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	歯周病予防に関する啓発事業	口腔疾患への意識づけ
実施人数(【実績値】2,806人 【目標値】令和6年度：2,850人 令和7年度：2,900人 令和8年度：2,950人 令和9年度：3,000人 令和10年度：3,050人 令和11年度：3,100人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		歯周病予防に関する取り組みを様々なシーンで啓発	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,ス	館内のポスター掲示など、機関紙、通知文及び封筒への定型文の挿入や保健事業開催時の啓発資料の配布	シ	健保組合	機関紙などで適宜掲載	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	歯周病予防に関する啓発事業	口腔疾患への意識づけ
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	医療費の実情と健康情報の提供	シ	健保組合	MYHEALTHWEBを介し、自らが取得	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	医療費の適正化	・年度ごとに継続して医療費上昇が見られる。
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		療養費内容照会(柔道整復師分)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	柔道整復師、接骨院の正しい受療方法の周知	シ	健保組合	受療者に毎月送付	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	医療費の適正化	・年度ごとに継続して医療費上昇が見られる。
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		後発医薬品の使用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	医療費の実情と健康情報の提供	シ	健保組合	年1回送付	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	医療費の適正化	・年度ごとに継続して医療費上昇が見られる。
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		ポリファーマシー対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	多剤・重複など適正服薬の促進	シ	健保組合	多剤、重複、飲み合わせなどの情報を年1回発送	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	医療費の適正化	・年度ごとに継続して医療費上昇が見られる。
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		メンタルヘルス対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	事業主、管理職、担当者や被扶養者向けの相談窓口の設置	シ	健保組合	常時東振協の共同事業として実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業所のメンタルヘルスサポート	健康無関心層への働きかけ

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
疾病予防	3	既存	一般健診(委託)	全て	男女	16~39	加入者全員	1	ス	39歳以下の被保険者を対象に実施	シ	健保組合	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ
	受診者数(【実績値】6,200人 【目標値】令和6年度:6,250人 令和7年度:6,300人 令和8年度:6,350人 令和9年度:6,400人 令和10年度:6,450人 令和11年度:6,500人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	生活習慣病健診(委託)	全て	男女	16~74	加入者全員	1	ス	被保険者を対象にした健診	シ	健保組合、東振協、東振協契約医療機関	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ 特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入
	受診者数(【実績値】38,000人 【目標値】令和6年度:38,050人 令和7年度:38,100人 令和8年度:38,150人 令和9年度:38,200人 令和10年度:38,250人 令和11年度:38,300人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	婦人生活習慣病健診(委託)	全て	女性	16~74	加入者全員	1	ス	女性被保険者及び35歳以上の被扶養者を対象に実施	シ	健保組合、東振協	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ 特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入
	受診者数(【実績値】12,400人 【目標値】令和6年度:12,450人 令和7年度:12,500人 令和8年度:12,550人 令和9年度:12,600人 令和10年度:12,650人 令和11年度:12,700人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	再検査(委託)	全て	男女	16~74	加入者全員	1	ス	一般・生活習慣病・婦人生活習慣病健診の再検査を実施	シ	健保組合、東振協契約医療機関	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	異常値が持続的なものかを確認	健康無関心層への働きかけ 特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入
	受診者数(【実績値】650人 【目標値】令和6年度:655人 令和7年度:660人 令和8年度:665人 令和9年度:670人 令和10年度:675人 令和11年度:680人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	がん検診補助金	全て	男女	16~74	加入者全員	1	ス	事業主健診と併せてがん検診を実施した場合に補助金を支給	シ	健保組合、東振協契約医療機関	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ 特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入
	受診者数(【実績値】1,400人 【目標値】令和6年度:1,450人 令和7年度:1,500人 令和8年度:1,550人 令和9年度:1,600人 令和10年度:1,650人 令和11年度:1,700人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	婦人生活習慣病健診補助金	全て	女性	16~74	加入者全員	1	ス	事業主健診と併せて婦人健診を実施した場合に補助金を支給	シ	健保組合、東振協	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ 特定保健指導基準該当の若年層への生活習慣改善に向けた早期介入
	受診者数(【実績値】40人 【目標値】令和6年度:42人 令和7年度:44人 令和8年度:46人 令和9年度:48人 令和10年度:50人 令和11年度:52人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
3	既存	一般健診補助金	全て	男女	16~74	加入者全員	1	ス	契約を締結した医療機関で被保険者が受診した場合に補助金を支給	シ	健保組合、東振協契約医療機関	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ	
受診者数(【実績値】1,000人 【目標値】令和6年度:1,050人 令和7年度:1,100人 令和8年度:1,150人 令和9年度:1,200人 令和10年度:1,250人 令和11年度:1,300人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
3	既存	日帰り人間ドック補助金	全て	男女	35~74	加入者全員	1	ス	35歳以上の被保険者が契約医療機関で日帰り人間ドックを受診した場合に補助金を支給	シ	健保組合、契約医療機関	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ	
受診者数(【実績値】8,700人 【目標値】令和6年度:8,750人 令和7年度:8,800人 令和8年度:8,850人 令和9年度:8,900人 令和10年度:8,950人 令和11年度:9,000人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存	インフルエンザ予防接種費用補助金	全て	男女	0~74	加入者全員	1	ス	インフルエンザ予防接種を受けた被保険者及び被扶養者に補助金を支給	シ	健保組合	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	インフルエンザ発症・重症化予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
接種者数(【実績値】35,000人 【目標値】令和6年度:35,050人 令和7年度:35,100人 令和8年度:35,150人 令和9年度:35,200人 令和10年度:35,250人 令和11年度:35,300人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
8	既存	脳検査	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	東振協契約の約270カ所の医療機関において相場価格以下で検査を実施	シ	健保組合、東振協契約医療機関	2次予防のサービスとして実施	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	脳疾患の早期発見・早期治療	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
検査者数【実績値】100人 【目標値】令和6年度：105人 令和7年度：110人 令和8年度：115人 令和9年度：120人 令和10年度：125人 令和11年度：130人-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
6	新規	女性の健康・育児相談窓口	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	スマホから医師等に無料相談可能な窓口の設置	シ	健保組合							女性特有の健康課題支援	健康無関心層への働きかけ 活発な意見交換	
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
体育奨励	8	既存	野球大会	全て	男女	16～74	被保険者	1	ス	健保直営秋川球場で開催	シ	健保組合	健康増進事業	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	被保険者の健康の保持・増進を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	8	既存	歩こう大会「潮干狩り」	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	木更津海岸中之島公園にて開催	シ	健保組合	健康増進事業	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	加入員の健康の保持・増進を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
	8	既存	WEBウォークラリー	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	自身の歩数を入力およびスマホなどと連携し、3か月の期間を定めたコースと1年間を通じたコースで開催	シ	健保組合	健康増進事業	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	加入員の健康の保持・増進を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
8	既存	体力づくり施設利用補助金	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	各地の体力づくり施設を利用した被保険者及び被扶養者へ補助金を支給	シ	健保組合、提携契約施設	健康増進事業	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	加入員の健康の保持・増進を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存	ヘルシーアップ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	スポーツ施設、宿泊施設で健康保険証を提示し、一般料金以下で利用する	シ	健保組合、契約施設	健康増進事業	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	加入員の健康の保持・増進を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
直営保養所	8	既存	熱海保養所「悠楽館」	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	1	ス	保養所利用申し込みから宿泊施設利用	シ	健保組合	心身の保養のため、開設	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	保養促進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)							
8	既存	軽井沢保養所「白樺」	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	1	ス	保養所利用申し込みから宿泊施設利用	シ	健保組合	心身の保養のため、開設	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	保養促進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						実施計画								
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標								
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		魚沼保養所「湯之谷けんぼセンター」	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	1	ス	保養所利用申し込みから宿泊施設利用	シ	5 健保協同による管理運営	心身の保養のため、開設	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	保養促進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
その他	3	既存	半日人間ドック	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ア	35歳以上の被保険者へ日帰り人間ドックの受診を推奨	シ	健保組合	1日43人、稼働率100%の達成	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ
受診者数【実績値】6,850人 【目標値】令和6年度：6,590人 令和7年度：6,600人 令和8年度：6,600人 令和9年度：6,600人 令和10年度：6,600人 令和11年度：6,600人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
3	既存		生活習慣病健診	全て	男女	16～74	加入者全員	1	ア,ス	被保険者が生活習慣病健診を受診	シ	健保組合	1日43人、稼働率100%の達成	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ
受診者数【実績値】1,482人 【目標値】令和6年度：1,500人 令和7年度：1,525人 令和8年度：1,550人 令和9年度：1,575人 令和10年度：1,600人 令和11年度：1,625人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
3	既存		一般健診	全て	男女	16～34	加入者全員	1	ア,ス	39歳以下の被保険者が一般健診を受診	シ	健保組合	1日43人、稼働率100%の達成	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ
受診者数【実績値】138人 【目標値】令和6年度：140人 令和7年度：142人 令和8年度：144人 令和9年度：146人 令和10年度：148人 令和11年度：150人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
3	既存		特定健診	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ア,ス	40歳以上の被保険者及び被扶養者が受診	シ	健保組合	1日43人、稼働率100%の達成	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	受診率向上	健康無関心層への働きかけ
受診者数【実績値】5人 【目標値】令和6年度：6人 令和7年度：7人 令和8年度：8人 令和9年度：9人 令和10年度：10人 令和11年度：11人)-												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		契約保養所	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	1泊2,500円を上限に補助、年度内2泊まで	シ	健保	心身の保養のため、開設	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	保養促進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		体育園	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	あきる野市の野球場の運営管理、事業所対抗軟式野球大会を実施	シ	健保組合	健康の保持・増進のため開設	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	野球場の管理運営	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								
8	既存		健保会館	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	保険給付事務、保険事業の組合事務局	シ	健保組合事務局	組合運営の固定施設として開設	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続	事業の継続		
評価指標の抽出が困難 (アウトプットは設定されていません)												評価指標の抽出が困難 (アウトカムは設定されていません)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他